

第 8 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

令和 2 年 7 月 3 0 日

定 例 会

令和2年第8回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和2年7月30日（午前の部）
 招集の場所 越谷市役所本庁舎5階 第3委員会室
 開閉会日時 開会7月30日 午前 9時30分
 閉会7月30日 午後 0時00分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	堀 川 智 子	委 員	進 藤 秀 子
委 員	荒 木 明 子	委 員	渡 辺 律 子

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	鈴 木 功	学校教育部長	岡 本 順
教育総務部 副 参 事 兼 教育総務課長	渡 辺 真 浩	学 校 教 育 部 副 参 事 兼 指 導 課 長	佐々木 清
教育総務部 副 参 事 兼 図 書 館 長	横 山 みどり	学 校 教 育 部 副 参 事 兼 給 食 課 長	石 川 智 啓
生涯学習課長	木 村 和 明	学 校 管 理 課 調 整 幹	齋 藤 道 雄
スポーツ振興 課 長	八木下 太	指導課調整幹	佐 藤 泰 弘
生涯学習課 調 整 幹 兼 科学技術体験 センター所長	前 田 清 彦	教育センター 調 整 幹	田 嶋 栄 蔵
		学務課主幹	武 内 英 樹

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副 課 長	市 川 今日子
----------------	---------

令和2年第8回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和2年7月30日（午後の部）
 招集の場所 越谷市役所本庁舎5階 第3委員会室
 開閉会日時 開会7月30日 午後 1時00分
 閉会7月30日 午後 5時30分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	堀 川 智 子	委 員	進 藤 秀 子
委 員	荒 木 明 子	委 員	渡 辺 律 子

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	鈴 木 功	学校教育部長	岡 本 順
教育総務部 副参事兼 教育総務課長	渡 辺 真 浩	学 校 教 育 部 副 参 事 兼 指 導 課 長	佐々木 清
		学 務 課 長	小野寺 秀 明
		教育センター 所 長	齋 藤 紀 義
		指導課調整幹	佐 藤 泰 弘

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副 課 長	市 川 今 日 子
----------------	-----------

	議 事	て ん 末
議 事 状 況	教育長報告	
	・教育長専決第10号について	
	議 案	
	・第32号議案 越谷市立小中学校体育施設開放に関する規則の一部を改正する規則制定について	原案可決
	・第33号議案 越谷市教育委員会事務局職員の分限処分について	原案可決 (秘密会)
	・第34号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について	原案可決
	・第35号議案 越谷市立図書館協議会委員の委嘱について	原案可決
	・第36号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について	原案可決
	・第37号議案 令和3年度使用中学校教科用図書の採択について	審議継続
	協議事項	
	・令和2年度越谷市教育費補正予算について	
	その他	
	・令和2年7月臨時市議会について	

◎開会の宣告

吉田教育長 それでは、これより7月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本定例会に関し、11名の方から傍聴許可願が提出されておりますが、第33号議案については、人事案件であることから秘密会とし、先に審議したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午前 9時30分)

吉田教育長 ここで、傍聴人の入室を許可します。

〔傍聴人入室〕

吉田教育長 それでは、傍聴される皆様におかれましては、傍聴の心得の内容をお守りいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

ここで、本日の議事の進行についてお諮りいたします。

第37号議案 令和3年度使用中学校教科用図書の採択については、長時間の審議を要する議案であるため、通常の議案、協議事項及びその他報告事項が終了した後に審議に入りたいと存じますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

◎教育長報告「教育長専決について」

◎その他「令和2年7月臨時市議会について」

吉田教育長 それでは、教育長報告、「教育長専決第10号について」とその他報告事項、「令和2年7月臨時市議会について」は関連がございますので、一括して報告することとしてよろしいでしょうか。よろしいですか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 それでは、教育総務部長から一括して説明いたします。

教育総務部長。

鈴木教育総務部長 それでは、教育長専決につきましてご報告申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の1ページをご覧ください。去る6月25日の定例教育委員会会議以降、本日までの間に教育長が専決処理いたしました1件の専決事項についてご報告させていただきます。こちらにつきましては、教育委員会の議決事項でございますが、緊急に処理する必要があり、かつ教育委員会会議を招集するいとまがなかったことから、越谷市教育委員会教育長に対

する事務委任規則第2条第2項の規定に基づき、教育長が専決処理を行ったものでございます。

なお、教育長が専決処理を行った事項につきましては、同規則第2条第3項の規定に基づきまして、本定例会においてご報告をさせていただくものでございます。

それでは、専決第10号についてご報告をさせていただきます。恐れ入りますが、会議要項の3ページをご覧ください。

専決第10号 令和2年度越谷市教育費補正予算の見積りについて。

令和2年度越谷市教育費補正予算の見積りについて、別冊のとおり専決処理する。

令和2年（2020年）7月14日、越谷市教育委員会教育長。

まず、今回の7月補正予算につきましては、9月補正予算で要求したものや国の地方創生臨時交付金等を活用し、新型コロナウイルス感染防止対策等に関して早期に着手すべき事業について予算計上されたものでございます。

それでは、恐れ入りますが、別冊1の令和2年度越谷市教育費補正予算総括表及び予算説明書の2ページ及び3ページをお開きください。

初めに、歳入についてご説明いたします。3ページの表の一番下にごございます歳入合計をご覧ください。教育委員会に関連する歳入につきましては、今回23億2,350万円を追加し、補正後の総額は55億2,834万6,000円となります。

歳入の内容でございますが、6ページ及び7ページの（1）、歳入予算説明書をご覧ください。14款国庫支出金、2項国庫補助金、5目教育費国庫補助金につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策及びGIGAスクール構想に基づく学校ICT環境整備事業に係る補助金として、教育総務費補助金21億6,150万円を追加します。また、学校における感染症対策及び学習保障等に係る国庫補助金として、小学校費補助金1億800万円、中学校費補助金5,400万円を追加します。

次に、歳出の内容でございますが、恐れ入りますが、戻りまして5ページ下段の教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。今回23億2,350万円を追加し、補正後の総額は132億1,093万5,000円となります。

歳出の主なものについてご説明を申し上げます。恐れ入りますが、12ページ及び13ページの事業別予算説明書をご覧ください。1項教育総務費、2目事務局費の教育活動支援事業につきましては、国の地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業に伴い、学校給食が提供されなかったことによる昼食費の補助として、就学援助及び特別支援教育就学奨励費の受給者への給付金に係る小中学校臨時休業特別給付金3,950万円を追加します。

次に、3目学校教育指導費のそのほかの学校教育指導費につきましては、国の地方再生臨時交付金を活用し、中学校の修学旅行及びスキー教室を中止する際に発生する費用の保護者への助成として、集団宿泊行事臨時補助金2,200万円を追加します。なお、当該補助金につきましては、そ

の後、協議事項になっております9月補正予算で要求した事業となりますが、要求後に調整を行いまして、早期に着手すべき内容でありますことから、今回7月補正予算に計上させていただいているところでございます。

次に、4目教育センター費の校内系ネットワーク運用事業につきましては、国の地方創生臨時交付金等を活用し、GIGAスクール構想に基づく小中学校1人1台の学習用端末等の整備に係る備品購入費として21億円を追加します。学習用端末等については、令和2年6月補正予算にネットワーク環境整備事業に係る委託料を計上し、段階的に整備していく予定でございましたが、今回国の地方創生臨時交付金等の活用について調整が整いましたので、計画を前倒しして整備するものでございます。なお、当該事業につきましても、先ほどと同様に、9月補正予算で要求した内容でございますが、その後の調整の結果、早期に着手すべき事業として7月補正予算で計上させていただいたところでございます。

恐れ入りますが、14ページ、15ページをご覧ください。2項小学校費、1目学校管理費の学校活動運営費につきましては、小学校における感染症対策及び学習保障等に係る消耗品費、通信運搬費及び教具等購入費として、合わせて1億800万円を追加します。

次に、3項中学校費、1目学校管理費の学校活動運営費につきましては、中学校における感染症対策及び学習保障等に係る消耗品費、通信運搬費及び教具等購入費として、合わせて5,400万円を追加します。

教育長専決第10号に係る報告は以上でございます。

続きまして、その他報告事項につきまして説明させていただきます。令和2年7月臨時市議会の概要につきましてご報告をさせていただきます。

恐れ入りますが、資料2の令和2年7月臨時市議会についてをご覧ください。会期日程でございますが、7月29日水曜日、1日間で開催されました。

続きまして、ページ下段をご覧ください。教育委員会に関する議案につきましては、令和2年度越谷市一般会計補正予算（第6号）についての1件が上程され、原案のとおり可決されたところでございます。

令和2年7月臨時市議会の報告については、以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、初めに教育長専決第10号 令和2年度越谷市教育費補正予算の見積りについて、ご質問またはご意見等はございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、ご説明ありがとうございました。

質問ではないのですけれども、今回の国の予算を活用していただいて、特にICTの整備等について進んで取り組んでいただいたということで、ありがたいと思いますので、計画的に進めてもらえればと思っております。

以上です。

吉田教育長 今後の研修等について、学校教育部長から何かございますか。

学校教育部長。

岡本学校教育部長 昨日の臨時議会において議決を頂戴いたしまして、GIGAスクール構想ということで、1人に1台という形で今後進めてまいります。

子どもたちの端末整備もちろんなのですが、それを十分に活用するために、教職員に対する研修等もきちんと整えていかなければならないと思っております。具体的には、初任者研修や臨時研修、そういった場面においてそれらの研修を行うのと同時に、それらがっております3つのパターンということで考えております。

1つ目が、これは教育長が今回の議会でも答弁なされたのですけれども、その端末の持っている特性というものの、それから便利なツールとしてどれだけのことが活用できるかということ、それから個別最適化学習に向けてのプロセスが非常に重要であると考えております。なかでも端末としての特性をうまく使って、子ども同士が自分たちの意見を言い合えるような形に持っていけるように、そのような研修方法も取り組んでまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

吉田教育長 ICTに関する教育については、これまでも研修を続けてきたところですが、クラスで1人1台という環境は整えられたのですが、全校で児童生徒に1人1台ということは、今回の補正で予算が通りましたので、これについてはさらに研修を進めていかなければいけないというようなことで、今学校教育部長から話があったのですけれども。

ほかにございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 基本的なことなのですから、これは今年度予算ということなので、今年度中に1人1台用意ができるということでしょうか。

吉田教育長 学校教育部長。

岡本学校教育部長 これで議決を頂戴いたしましたので、この後、入札等のプロセスを経て、今度、9月議会において、その財産取得に関する議決も頂戴するような形になってまいります。それらのプロセスを経て、何とか年度内には全ての調達を終えていきたいと考えておりますので、実際に子どもたちの手元に行くのは新年度になってからと考えています。

以上でございます。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 かなりの台数になりますので、業者としてはそれを一旦調達した後に、そこにいろいろな機能をつけていく、そういう作業をしなければなりません。そうすると、ある一定期間、端末を倉庫に預けておきます。小出しに何台何台と出していきますと、その倉庫に預ける期間が長

くなるので原価が高くなってしまいます。いつごろ出せるのかということなのですが、今ここではっきりと言えないということで、今年度中という話になってしまいましたが、そういう事情があります。

ほかにございますでしょうか。

これまで研修を積み上げてきたということはあるのですが、それにしても、すぐに1人1台使いこなせるかとなると、なかなか難しい状況もあるという部分で、すぐにでも使えるような、例えば辞書代わりに使うのです。私も今回、教科書を読むに当たって、英語の教科書を読むときに、翻訳ソフトを使って、英語を入れると日本語で変換し、日本語を入れると英文で変換し、しかも発音もしてくれる、そういう使い方はできる。あるいは今回もQRコードが出てきますけれども、QRコードというのは、学校でもつくれるそうです。ですので、学校でインターネットにいい教材があるので、そこへ飛ばしたいというときには、それをつくって、端末をかざして、そうするとそこへ飛んでいってくれる。それも授業で、ただ端末にかざすだけでという具合に活用できるかと。

あるいは観察についても、写真機能があるので、それで撮って、1週間ごとに撮って、それを後で画面を見ながら植物の成長観察、今までは絵日記に書いて、1回1回やっているのですが、相当な時間がかかるのです。そういうことで余った時間などを活用して、授業をさらに充実させる。指導主事に挙げてもらったら、20から30ぐらい例が挙がってきましたけれども、そういったことをこのようにできますという紹介も含めて、今後研修していく必要があるかと思えます。このようなことを答弁で申し上げたのです。

ほかにございますでしょうか。

渡辺委員 この後、教科書の採択もあるのですが、そこにもたくさんQRコードが載っているのです、そういうところで本当に、ふだんの授業で有効に使えればいいと感じました。

吉田教育長 QRコードについては、後で説明をしてもらいますけれども、条件が整ってきている中で、その活用についても今後考えていかなければいけないと思ってございます。

ほかにございますでしょうか。

このことについては別の機会でも触れていただく機会があろうかと思いますので、なければ、よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 それでは、この件については以上といたします。

続きまして、その他報告事項、令和2年7月臨時市議会について、ご質問またはご意見等がありますか。

これも関連してお話ししましたので、よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、この件については以上といたします。

◎第32号議案 越谷市立小中学校体育施設開放に関する規則の一部を改正する規則制定
について

吉田教育長 続きまして、第32号議案「越谷市立小中学校体育施設開放に関する規則の一部を改正する規則制定について」、スポーツ振興課長から説明いたします。

スポーツ振興課長。

八木下スポーツ振興課長 それでは、第32号議案「越谷市立小中学校体育施設開放に関する規則の一部を改正する規則制定について」 ご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の5ページをお開きください。

第32号議案 越谷市立小中学校体育施設開放に関する規則の一部を改正する規則制定について。
越谷市立小中学校体育施設開放に関する規則の一部を改正する規則を別紙のとおり制定するものとする。

令和2年（2020年）7月30日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、引用条項の整備及び条項の表記の整理を行う必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の7ページをご覧ください。主な改正の内容ですが、越谷市立小中学校管理規則の一部改正に伴い、責任の所在について規定している第2条第3項中の「第26条」を「第27条」に改めるとともに、条文の表記を整えるものでございます。

また、附則といたしまして、この規則は、公布の日から施行いたします。

なお、今回の規則改正の内容は、お手元の資料1、新旧対照表の1ページに掲載しておりますので、ご参照いただき、ご理解を賜りたいと存じます。

第32号議案についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしく願いいたします。

吉田教育長 これより本案に対し、質疑、討論を行います。

ご質問、またはご意見等はございますか。

今後の開放状況等について補足していただけますか。

スポーツ振興課長。

八木下スポーツ振興課長 今回のコロナウイルス感染症の関係に伴いまして、学校が再開された後、学校体育施設についても順次、開放する予定という説明をさせていただきましたが、各学校と、各地区の地区センターで協議させていただきながら、地区ごとに開放の日時、ルール等を整理させていただきました。

今、7月1日から開放している地区は、出羽地区のほかに数地区あり、ほとんどの学校が8月1日からの夏季休業に伴いまして、児童生徒と一般利用の団体との感染リスクが少ないというこ

とで、おおむね8月1日からは全校が開放する予定でお聞きしております。

以上でございます。

吉田教育長 今、補足をさせていただきましたが、何かございますか。

スポーツ振興課長。

八木下スポーツ振興課長 詳細を申し上げますと、7月1日から開放するのが出羽地区の学校で、出羽小学校や宮本小学校、大間野小学校は既に7月1日から、なお大袋地区、新方地区についても、7月1日、7月4日等で既に開放してございます。

1か所だけ、南越谷小学校につきましては、学校と地区センターで話し合いを進めた中で、南越谷小学校だけ9月1日からとお聞きして、そのほかの学校については、おおむね皆さん8月1日の夏季休業に入るタイミングで開放していくとお聞きしてございます。

以上でございます。

吉田教育長 ご質問、ご意見よろしいですか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 これより第32号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎第34号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について

◎第35号議案 越谷市立図書館協議会委員の委嘱について

◎第36号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について

吉田教育長 続きまして、第34号議案から第36号議案につきましては、附属機関の委員の委嘱または任命に係る案件でございますので、一括して所管課長から説明した後、各議案に対する質疑、討論を行うことといたします。

第34号議案、学務課長。

学務課主幹。

武内学務課主幹 それでは、第34号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱についてご説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の13ページをお開きください。

第34号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について。

越谷市立小中学校学区審議会委員を別紙のとおり委嘱するものとする。

令和2年（2020年）7月30日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市立小中学校学区審議会委員が、令和2年8月7日をもって任

期満了となるので、その後任委員を委嘱する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の15ページをご覧ください。学区審議会につきましては、越谷市立小中学校学区審議会条例第3条第1項の規定に基づき、20人以内の委員で組織するものとされております。委員の構成は、同条第2項の規定に基づき、1号委員として自治会長、2号委員として小中学校長、3号委員としてPTA会長、4号委員として知識経験者となっております。

任期は、同条例第4条第1項において2年間と規定されており、今回委嘱させていただく委員の皆様方につきましては、令和2年8月8日から令和4年8月7日までとなります。

名簿は選出区分、氏名、選出母体・役職等、性別、任期の順に掲載しております。

それでは、順に読み上げさせていただきます。なお、その際、氏名、性別、任期のうち新任、再任の別のみ読み上げさせていただきます。また、敬称は省略させていただきます。

初めに、1号委員でございますが、石崎一宏、男、再任の1名でございます。

次に、2号委員でございますが、澤田一郎、男、再任。瀧田優、男、再任の計2名でございます。

次に、3号委員でございますが、斉藤耕平、男、再任。長谷川幹人、男、再任の計2名でございます。

最後に、4号委員でございますが、福島茂樹、男、再任。遠藤敏子、女、再任。鈴木実、男、新任。鈴木啓子、女、新任。手塚麻美、女、新任。小池美佳、女、新任。佐々木京子、女、再任。中山有子、女、再任。石塚忠男、男、新任。深野弘、男、新任。内田泰代、女、再任。吉井仁実、男、新任。加瀬朱子、女、新任。小幡肇、男、新任。会田容子、女、再任の計15名でございます。

以上、20名の委員構成でございますが、男性が11名、女性が9名で、女性の比率は45%となっております。また、新任の方は9名、再任の方は11名でございます。

第34号議案についての説明は以上でございます。ご審議ほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 第35号議案、図書館長。

図書館長。

横山図書館長 それでは、第35号議案 越谷市立図書館協議会委員の委嘱についてご説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の17ページをご覧ください。

第35号議案 越谷市立図書館協議会委員の委嘱について。

越谷市立図書館協議会委員を別紙のとおり委嘱するものとする。

令和2年（2020年）7月30日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市立図書館協議会委員が、令和2年7月31日をもって任期満了となるので、その後任委員を委嘱する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の19ページをご覧ください。図書館協議会につきましては、越谷市立図

書館協議会条例第2条の規定により、委員12名で組織するものとされております。委員の構成は、同条例第1条第2項の規定に基づき、1号委員として市内に設置された学校の教育関係者、2号委員として市内で活動する社会教育関係者、3号委員として市内で家庭教育の向上に資する活動を行う者、4号委員として学識経験者となっております。

任期は、同条例第3条において2年間と規定されており、今回委嘱させていただく委員の皆様方につきましては、令和2年8月1日から令和4年7月31日までとなります。

名簿は選出区分、氏名、選出母体・役職等、性別、任期の順に掲載しております。

それでは、順に読み上げさせていただきます。なお、その際、氏名、性別、任期のうち新任、再任の別のみ読み上げさせていただきます。また、敬称につきましては省略させていただきます。

初めに、1号委員でございますが、舩田佳紘、男、新任。櫻井亜莉沙、女、新任。新井和徳、男、新任の計3名でございます。

次に、2号委員でございますが、川俣薫、女、新任。塩谷智紗子、女、新任。市村公嘉、男、再任。山田あい子、女、再任の計4名でございます。

次に、3号委員でございますが、吾妻美紀、女、再任の1名でございます。

最後に、4号委員でございますが、鈴木正紀、男、再任。岩元久徳、男、再任。荒川美穂、女、新任。根岸純子、女、新任の計4名でございます。

以上の12名の委員構成でございますが、男性が5名、女性が7名で、女性の比率は58.3%となっております。また、新任の方は7名、再任の方は5名でございます。

第35号議案についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 第36号議案、スポーツ振興課長。

スポーツ振興課長。

八木下スポーツ振興課長 それでは、第36号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命についてご説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の21ページをお開きください。

第36号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について。

越谷市スポーツ推進審議会委員を別紙のとおり任命するものとする。

令和2年（2020年）7月30日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市スポーツ推進審議会委員が、令和2年7月31日をもって任期満了となるので、その後任委員を任命する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の23ページをご覧ください。越谷市スポーツ推進審議会につきましては、越谷市スポーツ推進審議会条例第3条第1項の規定に基づき、18人以内の委員で組織するものとされております。委員の構成は、1号委員として学識経験のある者、2号委員として行政関係機関の職員、3号委員としてスポーツ関係団体等の代表者、4号委員として公募による市民となっ

ております。

任期は、同条例第4条第1項において2年間と規定されており、今回任命する委員の皆様方につきましては、令和2年8月1日から令和4年7月31日までとなります。

名簿は選出区分、氏名、選出母体・役職等、性別、任期の順に掲載しております。

それでは、順に読み上げさせていただきます。なお、その際、氏名、性別及び任期のうち新任、再任の別のみ読み上げさせていただきます。また、敬称は省略させていただきます。

初めに、1号委員といたしましては、佐藤正伸、男、再任。八十島崇、男、新任の計2名でございます。

次に、2号委員といたしましては、菊池邦隆、男、再任。新坂晃良、男、再任。林実、男、再任。中井淳、男、再任の計4名でございます。

次に、3号委員といたしましては、田中茂夫、男、再任。須賀恒雄、男、新任。高橋右二、男、新任。関口美恵子、女、再任。大沢昌太郎、男、新任。菊島智代子、女、再任。村井玉枝、女、再任の計7名でございます。

最後に、4号委員といたしましては、井出均、男、再任。倉田さえ子、女、再任。高橋恭子、女、新任。榎本薫、女、再任。戸田通子、女、新任の計5名でございます。

以上の18名の委員構成でございますが、男性が11名、女性が7名で、女性の比率は38.3%となっております。また、新任の方は6名、再任の方は12名でございます。

第36号議案についての説明は以上でございます。ご審議ほどよろしく願いいたします。

吉田教育長 これより本案に対し、質疑、討論を行います。

初めに、第34号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について、ご質問またはご意見等はございますか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 これより第34号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

続きまして、第35号議案 越谷市立図書館協議会委員の委嘱について、ご質問またはご意見等はございますか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 これより第35号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

続きまして、第36号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について、ご質問またはご意見等はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 お尋ねしたいのですけれども、会議要項の23ページに掲載している審議会委員一覧の13番の方は、生涯スポーツ講座という団体からの選出ですか。

吉田教育長 スポーツ振興課長。

八木下スポーツ振興課長 こちらの方につきましては、スポーツ振興課で行っています生涯スポーツ講座の講師の代表ということで、例年こちらの方以外にも数名の方に講座の講師をお願いしております、その中から1名を推薦していただいたものでございます。

以上です。

吉田教育長 よろしいですか。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 そのほかございますか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 これより第36号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎協議事項 令和2年度越谷市教育費補正予算について

吉田教育長 続きまして、協議事項に入ります。

「令和2年度越谷市教育費補正予算について」、教育総務部長から説明いたします。

鈴木教育総務部長 それでは、令和2年度越谷市教育費補正予算の要求内容についてご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、別冊2の令和2年度越谷市教育費補正予算についてをご覧ください。

まず、歳入についてご説明いたします。

3ページの表の一番下にございます歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関連します歳入の要求につきましては、今回5億2,846万5,000円を追加し、補正後の総額は37億3,331万円1,000円となります。

歳入の内容でございますが、恐れ入りますが、8ページ及び9ページをご覧ください。

初めに、教育総務部の要求でございます。科学技術センターでございますが、20款諸収入、6項雑入、1目雑入につきましては、その他雑入として、科学系博物館の活性化事業に係る助成金といたしまして、10万円を追加いたします。

次に、スポーツ振興課でございますが、20款諸収入、6項雑入、1目雑入につきましては、その他雑入として、市主催のスポーツ大会におけるけがに対する市民総合災害等補償金4万5,000円を追加いたします。

次に、学校教育部の要求でございます。学校管理課でございますが、14款国庫支出金、2項国庫補助金、5目教育費国庫補助金につきましては、中学校トイレの改修事業に係る学校施設環境改善交付金1億2,970万円を追加いたします。

次の21款市債、1項市債、6目教育債につきましては、中学校トイレの改修事業に伴い中学校債3億3,040万円を追加いたします。

次に、指導課でございますが、14款国庫支出金、1項国庫補助金、5目教育費国庫補助金につきましては、中学校の修学旅行及びスキー教室を中止する際に発生いたします費用に係る新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2,508万円を追加いたします。

なお、先ほど専決第10号の際にもご説明いたしましたとおり、当該補助金は9月補正予算の要求を行いましたが、その後の調整で7月補正予算に計上されております。

次の15款県支出金、2項県補助金、6目教育費県補助金につきましては、学習指導員の配置に係る新型コロナウイルス感染症学習支援事業費補助金4,314万円を追加いたします。

続いて、歳出の内容でございますが、恐れ入りますが、戻りまして5ページ下段の教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。今回11億3,058万2,000円を追加し、補正後の総額は120億1,801万7,000円となります。

歳出の主な内容につきまして、ご説明を申し上げます。恐れ入りますが、10ページ及び11ページをご覧ください。

初めに、教育総務部の要求でございます。上段の科学技術体験センターでございますが、1項教育総務費、5目科学技術体験センター費のうち、科学技術体験センター事務費につきましては、学校利用事業に係る事業費の確定に伴いまして、自動車借上料480万円を減額いたします。

また、科学技術体験センター管理運営費につきましては、企画展示事業に係る事業費の確定に伴い、展示物借上料150万円を減額いたします。

次に、スポーツ振興課でございますが、7項保健体育費、3目体育費のその他体育費につきましては、市主催のスポーツ大会におけるけがに対する補償金として10万5,000円を追加いたします。

次に、図書館ですが、6項社会教育費、5目図書館費のうち、図書館活動運営事業費につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、現計予算にて書籍消毒器を購入いたしましたが、その予算を補填するため図書館活動に係る視聴覚機材購入費29万1,000円を追加いたします。

また、図書整備事業につきましては同様の理由によりまして、図書整備に係る図書購入費143万6,000円を追加いたします。

次に、学校教育部の要求でございます。学校管理課でございますが、2項小学校費、1目学校管理費のうち、学校活動運営費につきましては、小学校の運営に係る通信運搬費の追加及び薬品処分等委託料といたしまして、合わせて1,086万円を追加いたします。

また、施設管理費につきましては、小学校施設管理に係る光熱水費の追加及び施設の改修工事費として、合わせて1億8,916万8,000円を追加するほか、備品等整備事業につきましては、老朽化に伴う放送機器の購入に係る経費といたしまして163万円を追加いたします。

12ページ及び13ページをご覧ください。3目学校建設費の増改築事業につきましては、小中一貫型小中学校の整備に向けた基本計画策定及び事業手法検討調査に係る委託料としまして1,540万円を追加いたします。

次の3項中学校費、1目学校管理費のうち学校活動運営費につきましては、中学校の運営に係る薬品処分等委託料として327万円を追加いたします。また、施設管理につきましては、中学校管理に係る光熱水費の追加及び施設の改修工事費として、合わせて5億8,115万6,000円を追加いたします。

次に、学務課でございますが、1項教育総務費、2目事務局費のうち教育活動支援事業につきましては、特別支援教育支援員等の配置に係る会計年度任用職員報酬等2,335万3,000円を追加いたします。

次の7項保健体育費、1目学校保健費の健康管理事業につきましては、産業医及び健康管理医の配置決定に伴いまして82万5,000円を減額いたします。

次に、指導課でございますが、1項教育総務費、3目学校教育指導費のうち、学校教育支援事業につきましては、国の補助金を活用し、学習指導員の配置に係る会計年度任用職員報酬等4,314万円の追加のほか、事業費の確定に伴い、会場設営委託料31万円を減額いたします。

14ページ及び15ページをご覧ください。学校司書の増員に係る会計年度任用職員報酬等219万2,000円を追加するほか、その他学校教育指導費につきましては、国の地方創生臨時交付金を活用し、中学校の修学旅行及びスキー教室を中止する際に発生する費用の保護者への助成として2,508万円を追加いたします。

なお、ただいまのその他学校教育指導費につきましては、歳入の際にもご説明いたしましたとおり、その後の調整で7月補正予算に計上されております。

次に、給食課でございますが、7項保健体育費、2目学校教育費の学校給食事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業に伴い、学校給食実施日が変更となったため、給食配送車運行委託料490万円を追加いたします。

次に、教育センターでございますが、1項教育総務費、4目教育センター費の校内系ネットワーク運用事業につきましては、GIGAスクール構想に基づく小中学校の学習用端末の整備に係る委託料及び賃借料として、合わせて2億2,563万4,000円を追加します。

なお、当該事業につきましても、専決第10号の際にご説明いたしました、その後調整で7月補正予算に計上されております。

恐れ入りますが、6ページにお戻りください。債務負担行為の追加でございますが、小中一貫校整備に向けた基本計画策定及び事業手法検討調査業務委託料につきましては、小中一貫型小中学校の整備に向けて基本計画の策定及び事業手法の検討を行う必要があることから、令和2年度から令和3年度までを期間といたしまして、債務負担行為を設定するものでございます。

続きまして、7ページをご覧ください。地方債の変更でございますが、歳入でご説明いたしましたとおり、中学校トイレの改修事業に伴い市債の限度額を表のとおり変更するものでございます。

9月補正予算の要求に係るご説明は以上でございます。ご協議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより協議に入ります。

ご質問またはご意見等はございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、ご説明ありがとうございました。

この資料の13ページですけれども、要求ベースでしょうけれども、特別支援教育支援員等の配置、指導課でやる学習指導員の配置、これ要求段階ではどのような形での配置を、あるいは増員を考えているのか、少し確認させていただければと思っています。

吉田教育長 指導課長。

佐々木指導課長 学習支援員は、児童生徒数が720名を超える学校につきましては2名、それ以外の学校につきましては、1名の配置ということで要望しているところです。

以上になります。

吉田教育長 学校教育部長。

岡本学校教育部長 これがいわゆる新型コロナウイルス感染症対応のところの部分でございまして、国、県からの補助金等の活用を念頭に置いております。

特別支援教育支援員等の配置については、学務課所管でございますが、本日学務課長は現在別の会議に出ておりますので、私から申し上げます。

まず、特別支援教育支援員についてですが、これは全部で8名ということで予算要望をしておりますが、今後どのような形になってくるかということを財政当局と話をしてみたいと思っております。

同時に、スクールサポートスタッフでございますが、現在25名ということで対応を図っているところでございます。これにつきましても国、県からの補助金等を活用しながら進めてまいりたいということで、予算要求をしているところでございます。

以上でございます。

吉田教育長 新型コロナウイルス感染症対策の一環として、このスクールスタッフであるとか学習支援員、大幅に増員が認められたところでございます。

何かご質問ございましたら、どうでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 15ページの一番下のG I G Aスクール構想に基づく、学習者用端末のことなのですが、先ほど7月の議会の予算で出てきた学習者用端末は、各児童に1人1台で購入するということだったのですが、ここに出てくる学習者用端末とは何なのか教えてください。

吉田教育長 教育センター調整幹。

田嶋教育センター調整幹 今、ご質問ありましたけれども、先ほど教育総務部長がお話ししましたとおり、こちらについては7月補正ということになります。当初は、国のG I G Aスクール構想のロードマップによりまして、学年を絞った形で9月補正に出す予定でしたけれども、新型コロナウイルス感染症の対応等も含めての国の第2次補正ということで、7月補正で全学年、小中合わせて、前倒しで一気に1人1台端末を実施するという流れになっております。

以上です。

吉田教育長 学習者用端末については、同じ扱いですかと。

田嶋教育センター調整幹 さようでございます。

吉田教育長 補足はありますか。

学校教育部長。

岡本学校教育部長 では、補足させていただきます。

今、教育センター調整幹がご説明いたしましたとおり、実は本年度から令和5年度までの数年間をかけて、1人1台端末を実施するという形で、私どもとしては今回の9月補正予算に当該学年分、3学年分だったかと思いますが、それを計上させていただこうと考えておりました。ところが、それに前倒しという形で、地方交付税交付金等の活用が認められたことから、今回9学年分、つまり令和5年までに整備するもの9学年分ということで、先ほど申し上げた7月の補正予算という形でやらせていただきましたので、7月の補正予算で9学年、1人1台が実現されます。もともとの計画としては、数年間をかけてやるための第1弾ということでこの9月補正という形になっておりました。事務上の時期の時間差がありますので、このような形になっておりますが、本来は、数年かけてやる予定の9月補正予算で出させていただくべきところが、今回このような形で載っていると捉えていただければと思います。

吉田教育長 進藤委員。

進藤委員 私が少しよく分からなかったのは、9月のこちらの予算では、賃借料になっていて借りるということを前提にしていたのが、7月には購入を前提にしたご説明だったので、違うものな

のか、お話伺ってもよく分からなかったので、結局同じもので借りる予定が買うことになったと理解してよろしいでしょうか。

吉田教育長 そのとおりでございます。

ほかにございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 少ししつこいように申し訳ないのですが、先ほどの学習指導員とそれからスクールサポートスタッフ、主な職務内容としてはどんなことなのか、確認だけさせていただきたいと思うのですけれども。

吉田教育長 指導課長。

佐々木指導課長 学習支援員に関しましては、休業中の未指導分の補習等を含めた形で授業の中等に入っていて、子どもたちの学習支援をしていただいたということで今のところは考えております。

吉田教育長 学校教育部長。

岡本学校教育部長 もうひとつのスクールサポートスタッフでございますが、これは、教職員の日常の業務の中を手伝ってもらう形でございます。具体的には、現在も既に配置されておりますが、印刷物の印刷をやってもらうなどがございます。現在教職員が1日に1回以上、校内の子どもたちが触れるようなところの消毒作業というのをやっておりますので、それも対応してもらえればと考えているところです。教職員の業務負担を少しでも軽くしたいという思いで配置を考えて要求しているところでございます。

以上です。

野口教育長職務代理者 分かりました。ありがとうございます。

吉田教育長 今回の7月の臨時市議会についても、そのマンパワーの大事さについて触れられておりましたけれども、ここのところでかなり増員が期待できるということになります。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 ほかになければ、以上を踏まえて進めてください。

続きまして、第37号議案「令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」審議を行います
が、ここで事務局職員の入替えを行います。

〔事務局職員入替え〕

◎第37号議案 令和3年度使用中学校教科用図書の採択について

吉田教育長 それでは、第37号議案「令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」、指導課長から説明いたします。

指導課長。

佐々木指導課長 それでは、第37号議案 令和3年度使用中学校教科用図書の採択についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の25ページをお開きください。

第37号議案 令和3年度使用中学校教科用図書の採択について。

令和3年度使用中学校教科用図書を別紙のとおり採択するものとする。

令和2年7月30日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、中学校教科用図書の改訂に伴い、令和3年度使用中学校教科用図書を採択する必要があるため、提案するものでございます。

越谷市立小中学校で使用する教科用図書の採択につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号及び越谷市立小中学校使用教科用図書の採択に関する要綱第3条の規定により、本市教育委員会で行うこととなっております。

恐れ入りますが、会議要項の27ページをお開きください。今年度採択する中学校教科用図書は、採択一覧表でお示ししたとおり17種目でございます。今回約10年ごとに改訂される文部科学省が定める教育課程の基準、学習指導要領が改訂されたことを受けて、教科用図書が変更されることとなりました。したがって、令和3年度からの中学校新学習指導要領全面实施に伴い、道徳を含めた全ての教科で採択を実施いたします。

なお、道徳に関しましては一昨年度に採択を行い、特別の教科として先行実施しておりますが、昨年度新学習指導要領により改めて検定を行っておりますので、ほかの教科と同様に採択を行います。なお、採択された教科用図書につきましては、令和3年度から4年間の使用となります。

採択の手順につきましては、越谷市立小中学校使用教科用図書採択事務要領に基づき行います。

初めに、越谷市立中学校使用教科用図書選定委員会委員より選定資料に基づく報告を行い、続いて教育長及び教育委員の皆様からの質疑にお答えいたします。その後、教育長及び教育委員の皆様でご協議いただいた後、採択をお願いいたします。

第37号議案についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより教科用図書の審議を行います。

審議に入る前に委員の皆様にお諮りいたします。

採択の方法ですが、種目ごとに全部の教科用図書発行者について、私及び委員がそれぞれ5段階で評価した上で順次無記名で投票し、評価点数の総合計が最も高い教科用図書発行者を採択することにしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ここで傍聴人の方にお知らせいたします。

傍聴の心得にあるように、議案の進行を妨げるような言動はお控えいただきますようお願いい

たします。静粛な会議の進行にご協力をお願いいたします。

初めに、音楽（一般）の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 音楽（一般）の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

伊東選定委員（栄進中教頭） それでは、説明に入らせていただきます。

音楽科は、資料を縦に読みながら教科書ごとに説明をさせていただきます。また、教科書を実際にご覧いただきながら説明させていただきますので、ご準備いただきたいと思います。

まずは、教育出版の教科書から説明いたします。

1、内容についてです。まず、1つ目の観点では、各学年の学習段階に応じた教材が学びのユニットというユニットごとに配列され、主教材を学習の軸として捉え、その教材と比べたり深めたりする教材を取り上げることによって、学習の理解を深め合うことができるような教材配置の工夫がされています。

教科書を見ながら説明させていただきます。2、3上の4ページをご覧ください。先に進めさせていただきます。歌うの項目に示されている最初の学びのユニットを見ていただければと思いますが、命が羽ばたくときが主教材として提出されており、その周りに共通事項に当てはまる項目が、そして主教材と比較しながら学習課題を理解していくための副教材である語り合おうが示されています。また、そこで学んだ内容を深めるための教材である大切なものがユニットの外側に提示されています。それらの教材をまとめて提示することで、生徒たちは学習課題を整理して捉えることができるように工夫されています。主教材のページの後に「ACTIVE!」のページが掲載されており、学習のワークシートのように取り組むことで、そこで提示された学習活動の狙いをきちんと捉えることができるように工夫されています。

2つ目の観点については、各教材に学びのポイントを示し、学習内容を明確にしながら生徒たちが主体的に学ぶことができるような工夫をしています。教科書を見れば、学習の課題がいつでも把握しやすいように示されています。

3つ目の観点では、巻頭に日本の歌と教材に出てくる著名な作曲者の言葉を掲載し、音楽活動に意欲が高まるように工夫されています。教材の意欲を高めるための資料として、2、3上の巻頭ページに、「浜辺の歌」と「早春賦」の写真が、また作詞作曲者のメッセージが掲載されています。このことにより、生徒たちが同じイメージを持ちながら学習が進められるように工夫されています。次のページには、ベートーベン作曲の第五交響曲についての紹介がされています。ベートーベンが当時苦悩を抱きながらこの曲に取り組んだことが書かれており、教材の学習を深めるための補助資料がカラーページで掲載されています。

4つ目の観点では、歌唱教材については、全学年を通して前年度の履修内容を生かして学習す

る和声的な合唱曲からスタートし、その後は多声的な混声合唱や我が国の伝統的な楽曲、また諸外国の楽曲への学習が進んでいくように系統性を踏まえた学習ができるよう歌唱曲が選定されています。その中で、「Let's Sing」というコーナーで、具体的な歌唱技術を習得するための手だてが掲載されています。

2、3上の19ページをご覧ください。ここでは、「浜辺の歌」の旋律のまとまりの項目が学習できるようにになっています。この楽曲がA、A+という形式で進んでおり、その形式を生かした表現をしていくのだという内容が示されており、以前では教師側がワークシートを作成して指導していた内容ですが、教科書に掲載することにより、どの教師も共通の指導ができるように工夫されています。

また、創作教材は、「音のスケッチ」としてまとめられており、この創作活動でも既習内容を踏まえながら学習を進めることができるように工夫されています。

5つ目の観点では、著作権や音楽療法などの実際の生活に関わる内容が紹介されている、「私たちのくらしと音楽」というコーナーを掲載し、社会の中の音楽の働きを理解できるように工夫されています。

2、3の上では、音楽著作権について学習します。QアンドA形式での学習を進め、生徒たちの実生活に即した学習ができるように工夫されています。

次に、2、資料です。1つ目の観点では、様々な教材の中で学習課題に迫るための協働的な学習を進めることができるよう、話し合おうのコーナーが掲載されています。生徒たちがその教材で学習した内容を自分なりの言葉でまとめ、クラスの仲間たちと話し合いながら協働的な学習ができるような工夫がされています。

2つ目の観点は、歌唱教材のほとんどが見開きページとなっており、歌唱の活動をするときに表現活動に集中できるように配慮がなされています。また、鑑賞の学習では、右側に年表が掲載されており、時代背景を意識しながら学習できるように工夫されています。

2、3の上では、各教材の右端に音楽史の年表が記載されています。楽曲が作曲された時代を生徒たちは教師の説明を聞きながらすぐに認識、確認できるように工夫されています。日本の伝統的な楽曲の学習では、日本史の時代で確認できるように配慮されています。

次に、3、表記・表現ですが、教科書の楽曲全ての音符や記号、歌詞が適切な大きさに記載されています。鑑賞教材では、指導のコメントに合わせて、必要な譜例が掲載されており、理解が深まるような配慮がされています。学習に必要な譜例はそれぞれの学習ページに掲載されていますが、2、3の上には、交響曲第5番の提示部の簡略譜が掲載されています。この曲をピアノで弾いてみたいと感じた生徒や、もっと知りたいと感じた生徒たちの興味・関心に対応した情報が掲載されています。

最後に、4、総括です。この教科書は、3年間にわたって、歌う、つくる、聴くという分類で

教材を配置しており、生徒たちが学習活動を意識しながら取り組むことができるように工夫されています。また、音の三要素も取り上げながら、音圧について学習することができるなど、他教科の学習との横断的な学習が進められるように工夫されています。

以上で教育出版の説明を終了いたします。

続いて、教育芸術社の教科書について説明いたします。

2、3の上が中心になってくると思いますので、そちらの教科書をご準備ください。

1、内容です。1つ目の観点では、各学年の学習段階に応じた題材や教材が段階的に配置されています。教育芸術社の2、3上の8ページをご覧ください。各教材が思考力、判断力、表現力と知識と技能の3つの観点のうち、どれがどのように関わっているのか、生徒自身で確認ができるように工夫されています。

また、2、3上の14ページの左側をご覧ください。各教材の課題や共通事項に当てはまる項目が記されており、それぞれの教材の学びの意図を生徒たちが学習前や学習中に確認することができるように工夫されています。

2つ目の観点では、表現や鑑賞の学習のポイントをキャラクターが吹き出しで呼びかけるように掲載されています。2、3上の29ページをご覧ください。各キャラクターが各教材の考えるポイントを示しています。どこをどのように歌いたいのかという表現の観点を生徒たちが協働的な学びによって獲得できるように工夫されています。これにより学習の流れの中で音楽表現を創意工夫するよさを協働的な学びを通して生徒たちが学習できるように配慮されています。

3つ目の観点は、巻頭に生徒たちにもなじみのある様々なジャンルの音楽家のメッセージを掲載し、音楽活動に意欲的に参加できるように工夫されています。2、3上の巻頭には、教科書に掲載されている「やさしさに包まれたなら」の作曲者である松任谷由実さんの写真と言葉が掲載されています。同様に、2、3下には、日頃音楽の授業で取り上げられることが多い「春に」の作詞作曲者の言葉が掲載されています。作曲者の中学時代の話と自分を照らし合わせたり、作詞作曲者の楽曲に込められた思いに触れたりすることで、教材曲を表現することに対しての意欲を高める工夫がされています。また、音楽と社会、日本と外国のポピュラー音楽等についての資料を幅広く示し、多様な音楽文化に親しめるように工夫がされています。

4つ目の観点ですが、小教材では、「深めよう！音楽」というコーナーが掲載されており、各教材の狙いを確実に学習できるように工夫されています。2、3上の22ページをご覧ください。ここでは、曲想を感じ取り、表現を工夫するという内容がワークシート形式で掲載されています。歌唱する旋律だけでなく、ピアノ伴奏の響きにも着目させ、楽曲全体の音楽を捉えながら表現する力を身につけられるよう工夫されています。

また、ここではこう歌いたいという目標を生徒たちがイメージしながら歌唱技術を向上させることを目的とした「My Voice」というコーナーが掲載されています。そこでは生徒たち

が協働的な学びを通して学習が進められるよう、歌唱表現を知っていく上で意識するポイントをキャラクターのせりふ形式で掲載されています。

次に、創作の学習では、「My Melody」や「Let's Create!」のコーナーで既習内容を生かしながら新たな学習を進めることができるような配慮がされており、生徒が無理なく学習を進めることができるようにされています。

ある「My Melody」の部分では、リズムを活用したリズム創作の学習内容が掲載されています。1年生のときに学んだ反復や変化という既習内容を生かしながら、この題材では新たに構成の部分に着目して学習活動が展開できるように工夫がされています。

5つ目の観点では、生活や社会の中の音楽のコーナーの中で、社会の中で音楽が様々な役割を果たしていることを学習できるように工夫されています。2、3の上の中では、演奏家が出向いて音楽を聞く機会を提供するアトリーチ活動が取り上げられています。指導、生演奏、体験と様々な観点を紹介しながら、社会と音楽がつながっていることを伝えています。

続いて、2、資料です。1つ目の観点ですが、日本音楽の教材では、演奏者からのアドバイスを掲載して、生徒たちの興味・関心が高まるような配慮がされています。2、3の上では、長唄について取り上げられているのですが、今までは長唄の音源をまねしながら長唄の雰囲気味わうという活動が中心でしたが、長唄の専門家の言葉が掲載されていることによって、より模範演奏に近い表現活動ができるように工夫されています。

2つ目の観点では、生徒たちが実際に楽曲を聞きながら学習ができるように、耳でたどる音楽史のコーナーで、CDと連動した内容が掲載されています。日本と西洋の音楽史を実際に附属されている音源を使って学習するように工夫されています。写真だけではなく、音源を聞いて聞き比べることによって、日本音楽の独特な雰囲気を味わうことができるように工夫されています。例えば中学校で学習する西洋のオペラと日本の歌舞伎を聞き比べることなどを通して、既習内容を深めることができると考えられます。

続いて、3、表記・表現ですが、表記については、文字や音符が適切な大きさと表記されています。また、全学年の教科書の巻末に音楽の約束のページを設け、いつでもそのページを見ながら生徒たちが主体的に学習できるように工夫されています。2、3の上の部分では、音程や和音についての内容が掲載されています。この内容については、少し難易度が高いものとなりますが、生徒たちの学習の定着度によって、指導、工夫ができるようになっています。

最後に、4、総括ですが、この教科書は、歌唱、創作、鑑賞の学習活動ごとに分類して掲載されており、1年間の学習活動が見通せるように工夫されています。また、鑑賞教材のページの中に、その頃日本ではというコーナーを設け、他教科との関連が図られるように工夫されています。2、3の上では、交響曲第5番の「運命」が作曲された時代に日本ではどのようなことが行われていたのかというような世界的な分野を通して楽曲の理解を進めることができるような工夫がさ

れています。

以上で音楽（一般）の説明を終了させていただきます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、まず選定委員としてどの教科書を推薦するか、ご説明をお願いしたいと思います。

瀧田選定委員長（北中校長） それでは、説明させていただきます。

選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告、さらに法定教科書展示会会場において、来場者の皆様からご提出いただいた意見などを参考にしながら、協議を行いました。

協議の終了後、選定委員14名全員が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載して、無記名での投票をいたしました。70点が満点ということになります。結果でございますけれども、17番、教育出版が57点、27番、教育芸術社が70点ということでした。

本選定委員会としましては、点数の多かった順に、70点の教育芸術社、57点の教育出版ということで推薦をさせていただきます。

以上です。

吉田教育長 堀川委員。

堀川委員 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

伊東選定委員（栄進中教頭） 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。1点目では、音楽科における主体的・対話的で深い学びの工夫についてです。2社とも課題設定、見通しを持たせるなどの主体的な学びを促すための工夫がされていること。また、対話的な学びについては、友達の意見知りながら学べるようにしたり、キャラクターを活用したりして工夫していることが話題として出ました。

2点目は、鑑賞の工夫についてです。2社とも目標が明確で分かりやすく解説していることが出ました。

以上でございます。

堀川委員 ありがとうございました。

吉田教育長 進藤委員。

進藤委員 学校の調査報告書ではどこの教科書会社の推薦が多かったのでしょうか。また、その主な理由について教えていただければと思います。

伊東選定委員（栄進中教頭） 学校からの推薦では、教育芸術社を推薦する学校が最も多く12票、次いで教育出版が8票という結果でした。

推薦理由といたしましては、教育芸術社では、鑑賞曲において分かりやすい資料の提示と解説及びワークシートがあり、生徒たちが活動しやすい。また、歌唱教材においても、自主的に表現の工夫ができるような内容が掲載されている。また、教育出版では、各教材が学びのユニットという課題ごとのグループでまとまっており、何を学習するのか、教師も生徒も明確化されているためなどの意見がありました。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 我が国や郷土の音楽文化の扱いについて、各社どのような工夫が見られるのでしょうか、教えてください。

伊東選定委員（栄進中教頭） 出版社ごとに説明させていただきます。

まず、教育出版では、表現と鑑賞の活動を関連づけて編集されています。歴史的・文化的な背景、生活や社会における音楽の働きについても、文化活動を通して理解できるように工夫されています。

教育芸術社では、幅広い分野から教材を取り上げ、音楽のみならず文化的な側面からも総合的に捉えられるような工夫がされています。伝統芸能や民謡などは、実際に体験したり、同世代の中学生の取り組みを知ったりすることで、実感を持って学習に取り組むことができるよう工夫されています。

以上です。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 ほかにございますか。よろしいでしょうか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 ほかになければ、それでは質疑を終わります。

協議に入る前に、教科用図書に見られるQRコードの扱いについてですけれども、この点、国ではどのような見解なのか、事務局からの説明をお願いします。

佐々木指導課長 それでは説明させていただきます。

平成29年5月23日付で発行されております教科用図書検定調査審議会の報告書によりますと、QRコード等を参照させる情報自体は、教科書そのものではなく、あくまでも学習上の参考情報として供するものであると示されております。

以上になります。

吉田教育長 国では参考情報の扱いですが、そのような扱いで進めてよろしいでしょうか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 それでは、協議を行います。

選定資料にある4つの調査の観点、内容、資料、表記・表現、総括に沿って協議を進めたいと思います。

これらは相互に関連しておりますので、必ずしも分けてお話をしていただくなくてもよろしいと考えておりますので、それでよろしいでしょうか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 では、そのようにお願いいたします。

まず、調査の観点、内容についてご意見はございますか。

荒木委員。

荒木委員 どちらの教科書もそれぞれに様々な工夫がされていると思いました。工夫の違いが分かりやすいと思われるところを例として具体的に、一緒に見ていけたらと思います。

まず、教出「音楽のおくりもの 1年」の44から47ページ、教芸「中学生の音楽1」48から51ページ、シューベルトの「魔王」です。これは、歌手1人が4役を歌う歌曲です。どちらも4ページで構成されています。教出44ページにそのゲーテの詩が、日本語訳がありますので、内容が分かると思うのですが、この教材を扱う上でのポイントがどちらも左端の帯のところに書かれてありますが、教出ではこの重要なポイントを明確に書いてあります。一方、教芸ではポイントは教出と比べて抽象的ですが、51ページに具体的に注目すべきポイントが書いてあって、吹き出しで、お父さん、お父さんと子が呼ぶピンクの部分では、音の高さがどう変化しているのかな、またどうしてそうなっているのだろうとあって、48、49ページの変化の部分を見ると、その魔王におびえる子どもがお父さん、マインファーターと言うたびに、1音ずつ高くなっていくということがはっきりと分かると思います。これは、生徒にとって大変分かりやすく、また先生方も教えやすいのではないかなと感じます。なお、教出には、45ページに、ほかの作曲家による「魔王」と比べようという発展的な学習があります。

このような傾向は、その前のページのビバルディの「四季 春」でも見られます。教出1年、38から43ページの6ページ、教芸1年、44から47ページの4ページ、それぞれのその左端の帯のところに注目しますと、やはり教出では、その要となるポイントが明確に書かれています。それに対し、教芸ではポイントは教出と比べて抽象的です。この曲では、ソネット、イタリアの14行詩と音楽との関わりを鑑賞することがポイントとしてあるわけですが、教出では39ページの話し合おうの欄に書くようになっていて、教芸では曲想を捉えるきっかけとなるようなチェンバロ奏者のイメージのお話があり、また47ページの1ページ丸々使ってまとめて発表するようになっています。この作業は、生徒が考えたり理解したりしやすいのではないかと感じました。

なお、教出では38ページで、どちらも同じような楽譜が載っているのですが、38ページでトゥッティソロという言葉を学び、あと43ページで発展的な学習とも言える、今度は「春」の次に「秋」を、音楽の構想もより把握しながら鑑賞するという形になっています。

この「魔王」と「春」、以上の2曲の鑑賞教材の比較や、あとそのほかの教材の比較などから、教出が生徒たちの作業を通した分かりやすさ、それから教芸はより高い発展的な学びという傾向が見られると感じました。

あと、そのほかの特徴といたしましては、教芸には2、3年下の28ページ、ビートルズの「レットイットビー」が歌唱教材としてあって、58ページからポピュラー音楽について書かれていて、60ページから63ページのポピュラー音楽のジャンルのページが非常に分かりやすいと思いました。それに対して教出のポピュラー音楽図鑑というのは、2、3年上の66から69ページ、こういった同じものを比べると工夫の違いが見えると思います。

吉田教育長 ありがとうございます。

関連してでもいいです。別の観点からでもいいので、ございませんか。

ほかにございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 今、いろいろお話伺わせていただき、ありがとうございます。

教育出版もユニットを使って、そして、メモリーというのは、音楽療法とかそういうことも扱っているということで、興味深いと思ったのですが、それはやはり現場の声を聞くと、教育芸術社が圧倒的に多いと思ったのですが、その辺の理由として、やはりポピュラーとかそれからクラシックとか幅広く題材を扱っているということで、生涯学習の観点からも本市の先生方は教育芸術社を選んでいるという感じはしました。教育出版のそのすっきりした感じとか流れが分かりやすい感じもするのですが、それでもなおそちらがいいと感じました。特にポピュラー、先ほどのポピュラー音楽のジャンルのことも出ていましたけれども、扱っている曲として、日本の歌の中で「涙そうそう」とか「上を向いて歩こう」とか、ユーミンとして親しまれている松任谷由実の「やさしさに包まれたなら」とかも出ていたりして、多くの年代にも親しまれるようなものを取り入れているのもいいと感じました。

あと、「旅立ちの日に」という卒業式で歌う歌も入っているということで、そういった面がきつと現場の声として上がっていると思いました。

私からは以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 とすれば、子どもたちはロックとかJポップとかそちらに走ってしまうと思います。

なので、やはり学校の音楽の授業だからこそ、こういう日本の伝統芸能や日本固有の音楽に親しむという機会をつくったほうがいいと思います。そうするとやはり先ほど選定委員さんのご説明にもありましたように、教育芸術社がそういう点では幅広く扱っていると思いました。

あとは、教育出版では音楽の著作権について扱っているところがあったと思うのですが、

これはとても大切なことだと思います。今、子どもたちは、違法だろうと何だろうとダウンロードを当たり前のようにしているので、こういうところでしっかりと教える必要があり、教科書に載っているというのはとてもいいなと感じました。

以上です。

吉田教育長 進藤委員。

進藤委員 今、渡辺委員からありましたように、なかなか若い子というか、中学生は伝統芸能に触れる機会がないので、むしろ授業を使って触れるということはとても大事なことになるのかなと思いました。その点では両社ともにかなりのページを割いて、法とか、あと郷土芸能であるとかを扱っていると思いました。殊に埼玉に限定して言わせていただくと、いずれも秩父の夜祭りに関し言及があって、特に教育芸術社に関しましては、1ページ丸々割いて、すぐご近所の久喜市の、鷲宮でしたか、その催馬に関しても出ていますので、そういった意味でも非常に越谷の生徒さんにとっては受入れやすくて、実際見聞きもできるし、また越谷でもお祭り関連でいろいろなサークルもあるようなので、そういった意味では非常に身近に感じられると思いました。

また、先ほど出ました著作権に関しまして、両方とも2年、3年のところにきっちり言及がされておりまして、最近のSNSとかネットの関係で著作権はいろいろと問題になることもありますので、学校でしっかり教えていただけるとありがたいと感じました。

以上です。

吉田教育長 ほかに。

堀川委員。

堀川委員 私が少し面白いと思ったのは、教育芸術社の1年生、39ページの映画のジョーズのテーマというところが出ていて、映画を見ても音楽はすごく影響力が大きくて、その曲調からいろいろな映画のイメージが発想できると思うのですが、その映画と音楽との関連性、またそういったものが私たちの生活に身近にあるので、またそれに関連して、ハリー・ポッターやジュラシックパークのイメージが大変強く印象に残っている曲の紹介もしてあって、このページも非常に印象に残りました。

私からは以上です。

吉田教育長 私からも少し言わせてもらいますけれども、学習指導要領に沿ってお話をさせていただきます。生きて働く知識・技能というところでは、音楽の多様性の理解と音楽教諭に必要な技能を身につけることが求められているわけですが、例えば教芸の1の14ページから15ページについて、「My Voice」のところで、姿勢と呼吸法というような、歌声づくりということで、基本的な歌唱のテクニック、技能等を身につけさせて、それから42ページでは、指揮の仕方について学べるようになっていますが、戻って19ページで、この旋律あるいは音量、強弱などの音楽や音の要素、これに着目させて、そして21ページの「My Melody」につなげる学習

を通して、そういう創作表現に関わる技能、こういったものを身につけさせるようにしているなど提示させていました。

また、教芸では幅広い分野から教材を取り上げているので、音楽のみならず文化的な側面からも創造的に捉えるようなこともされていると思います。

思考力、判断力、表現力という点で言えば、教芸一般では、中学生の器楽の9ページに、音楽をつくっている要素というので、音色、リズム、旋律、ハーモニー、そういった音や音楽の要素という、我々の頃は三要素というのでよく教わっていましたがけれども、それに着目させて、そしてそういうことを取り上げて、音楽をその働きの視点で捉えるというのですか、音楽の一つの見方・考え方ということなのでしょうけれども、イメージや感情、生活、社会、伝統や文化と関連づけることとして、そういう音楽的な見方・考え方を深めていけるように工夫されていると思いました。

例えば音楽（一般）の教芸の1の11ページでは、これはほかでも見られるわけですがけれども、先ほど荒木委員さんからご説明ありましたけれども、作者からのメッセージを取り上げて、そして曲と学習者の自己のイメージと結びつけやすくしている。

また、先ほど申し上げた19ページの後半では、その特徴を音楽や音の要素として旋律や音量の強弱から捉えて、表現の仕方を考えさせると、そういう工夫をしています。その上で、21ページの「My Melody」、創作活動につなげていく流れをつくっていると思いました。

この点、報告書を見ますと、歌唱教材では曲の構成を細かく分析できるような表現を使って、生かせるように配慮されている。これは、学校からの報告書ですがけれども、音楽を形づくっている要素を捉え、それを生かして表現や鑑賞の活動が進められるよう、適切な教材配置がされている。そういった記載が見られたところです。

ほかにございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 よろしければ、次の資料と表記・表現、それから総括について、大体お話が出ているようですので、一括してお聞きしたいと思います。何かありましたら。

荒木委員。

荒木委員 先ほど教育長からも音楽の多様性というお言葉がありましたけれども、日頃感じることもなのですけれども、先ほどご説明にもありましたように、教育芸術社の2、3年上の巻頭ページ、ユーミンの言葉がありまして、「皆さんも自分がすばらしいと思うことを大切にしてください。人と違うことを恐れなくて」とあります。これは、今この時代を生きていくのにとっても大切なことだと感じていて、自己肯定感を高めることにつながると思いますし、音楽の授業の大切な要素だと思っています。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 このほかの観点で協議したい内容はございますか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、音楽（一般）の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いします。

〔投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、野口委員、それから堀川委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

投票結果については、発行者の番号、発行社名、評価点の合計の順番に、発行者の番号順に読み上げます。

17番 教育出版社 24点

27番 教育芸術社 30点

以上のとおり音楽（一般）の教科用図書は、27番、教育芸術社を採択することに決しました。

続いて、音楽（器楽合奏）の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 それでは、音楽（器楽合奏）の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

伊東選定委員（栄進中教頭） それでは、器楽の教科書について説明いたします。

音楽（一般）と同様に、縦読みで教科書を確認しながら説明をさせていただきます。

まず、教育出版から説明をさせていただきます。

1、内容についてです。1つ目の観点では、楽器が管楽器、弦楽器、打楽器のジャンル別に掲載されており、それぞれの団体に応じて課題が明確に表示されています。器楽の教科書の最初の目次のページをご覧ください。まずは、学習する楽器の提示方法ですが、左側のページにリコーダー、篠笛、尺八の管楽器が、右側のページには、ギター、箏、三味線の撥弦楽器が、その下に打楽器が掲載されており、和楽器と西洋楽器の区別なく各楽器が配置され、同じ種類の楽器けれども、楽器ごとに音色の変化があるということが感受できるように工夫されています。

次に、6ページをご覧ください。各教材のページの上に学びの狙いを明確に示し、課題を意識しながら学習ができるように工夫されています。

2つ目の観点ですが、何が同じで何が違うというコーナーを配置し、学習指導要領の共通事項を主体的に学習することができるように工夫されています。教科書の26ページをご覧ください。ここでは吹く楽器とまとめられた楽器の音色や旋律を聞き比べて、楽器の特色を生徒たちがつかむことができるように工夫されています。また、直接教科書に書きながら自分の意見をまとめ、そこで各自がまとめた内容を話し合おうのコーナーを活用して、友達と意見を交わしながら学習が深めることができるように対応されています。

また、教科書後半には、合わせて演奏しようというところが載っているのですが、その部分の創作教材の音のスケッチのコーナーが掲載されており、教科書前半の学習で身につけた基礎的な演奏技能を生かしながら、仲間とのアンサンブル活動を通して、協働的に創作を学ぶことができるように工夫されています。

3つ目の観点ですが、吹く楽器の切り替わりの部分には、発展というコーナーを設置して、諸外国の楽器を資料として写真で示し、他国の音楽文化を感受することができるように工夫されています。この部分では、教科書27ページ、隣のページをご覧ください。ここでは吹く楽器の諸外国の楽器が紹介されています。自分が実際に演奏しながら学んだ既習内容を振り返りながら、同じ種類の諸外国の楽器の特徴を知ることができるように工夫されています。そのことにより、今までは距離を感じていた民族楽器をより身近に感じながら学習ができるようになっています。また、巻頭には、和楽器の演奏家の言葉を掲載し、興味・関心を高めることができるように工夫されています。

4つ目の観点では、各楽器の学習を進める上で教材が平易なものから順位に掲載されており、生徒たちの実態に応じて、実技の機能が高められるように工夫されています。また、そこで高められた技能を広げるための様々な工夫がされています。教科書の75ページをご覧ください。「Let's Try!」というコーナーで比較的難易度が高いアンサンブル教材を掲載し、演奏技能をさらに高めていく工夫がされています。このページでは、春のリコーダーアンサンブルが掲載されています。聞き覚えのある曲だからこそ譜読みの時間が短縮され、器楽アンサンブルの学習

に集中できるような工夫がされています。

また、94ページをご覧ください。名曲旋律集というコーナーでは、音楽一般の教科書に扱っている楽曲を生徒たちが取り組み、興味・関心を高めながら技能の向上が図られるように工夫されています。グルタバなどは8分の6拍子の難しい拍子ですが、実際に音楽（一般）で学習した曲であるので、比較的短時間で譜読みが終了することが期待できますし、また鑑賞で学習した既習内容を深めることができるように配慮されています。

5つ目の観点では、和楽器の学習で取り組む楽曲に現代の曲も配置し、生徒たちが興味を持って取り組むことができるように工夫されています。84ページをご覧ください。ここでは、「もののけ姫」の箏によるアンサンブルの楽譜が掲載されています。箏の学習についての教材は、この教科書では、「さくら」や「荒城の月」といった日本の昔の楽曲が使用されており、日本風な響きが強調されていましたが、ここでは生徒たちの生活に根づいた曲を学習し、楽器演奏の意欲を高める工夫がされています。

続いて、2、資料についてです。1つ目の観点では、これはQRコードのことなのですが、も、「まなびリンク」というコーナーが配置されています。

そして、2つ目の観点ですが、学習している楽器の疑問点を自分で確認ができるように様々な工夫がされています。教科書の8ページをご覧ください。このページではアルトリコーダーのドレミファソの音を学習するのですが、教材を学習しながら、新しく取り組む運指を生徒自身で確認しながら学習を進めることができるように工夫されています。また、巻末の見開きページをご覧ください。ギターの学習で使用するコードの押さえ方の写真が掲載されており、自主的、主体的に学習を進めることができるように配慮されています。

3、表記・表現ですが、教科書の楽曲全ての音符や記号、歌詞が適切な大きさに記載されています。

2つ目の観点ですが、裏表紙に「いろいろな用語、記号」という表で音符、休符、記号等の解説がされており、教材曲で使われている演奏上の記号を自主的に学習することができるように配置されています。

最後に、4、総括ですが、この教科書の中で何が同じで何が違うや、吹く楽器の仲間たちなどの様々なコーナーを掲載しており、自分で調べたり、その内容を仲間と話し合ったりしながら、主体的、協働的に学習できるように工夫がされています。

以上で教育出版の器楽の教科書についての説明を終了させていただきます。

続いて、教育芸術社について説明いたします。1、内容についてです。1つ目の観点では、器楽合奏のイメージをつかみながら、各楽器の基礎的な学習ができるよう、教科書の冒頭にアンサンブルセミナーという合奏曲を掲載しています。教育芸術社の器楽の教科書の12ページをご覧ください。ここでは、「千の風になって」の楽譜が掲載されています。演奏する楽器が指定されてい

ないので、楽器を変更するたびに生まれる鳴り響く音楽を感じながら、アンサンブルの工夫ができるようになっていきます。生徒たちは、この内容を最初に確認し、こんな曲を演奏してみたいなというイメージを持ちながら、この後の学習ができるような配慮がされています。

また、冒頭のアンサンブルの学習では、そこで学習して感受した内容に対話的な学習を通して明確化し、さらに学びを深めていくための「深めよう！音楽」というコーナーを配置しています。13ページの下をご覧ください。ここでは、キャラクターの吹き出しがその曲の特徴についての説明や生徒たちの思考判断につながる助言が掲載されています。また、これは一般の教科書でも同様でしたが、教科書冒頭の中学校の器楽の学習内容の中に、各教材が3つの観点のうち、どれがどのように関わっているのか生徒自身で確認ができるように記されています。

2つ目の観点ですが、教科書後半に、アンサンブルのコーナーを掲載し、そこでは様々なジャンルの曲を取り上げ、生徒の興味・関心を高めることができるように工夫されています。教科書の76ページをご覧ください。そこで使われている楽曲は、ミュージカルやクラシック、ディズニー、ジブリやテレビのテーマ音楽まで多岐にわたります。生徒たちの興味・関心が高い教材を今まで学習した表現の技能を生かして表現できるように工夫されています。また、そこではただ演奏技術を高めるだけでなく、各曲に合奏する上での課題を掲載し、生徒たちが協働しながら主体的に学習できるように配慮されています。

続いて、3つ目の観点ですが、生徒たちの学習意欲を喚起するために、生徒たちになじみのあるバンドの世界についてのページや楽器でメロディーというコーナーで生徒たちになじみのある楽曲を掲載しております。教科書の75ページをご覧ください。そこでは、生徒たちが聞いたことのある曲を歌っているバンドスコアを掲載しています。ギターは和音、ベースは低音、ドラムはリズムと、様々な楽器が役割を持っており、器楽の教科書で学習している合奏曲と同じ要素で譜が成り立っていることに気づくことができるようになっていきます。

続いて、教科書96ページをご覧ください。ここでは、日常生活で聞き覚えのある曲が多く掲載されています。リコーダーではクラシックだけでなく、ジャズの曲まで取り上げられています。これらの曲の学習を通して、各楽器で学んだ基礎的な学習内容を発展させることができるように工夫されています。

4つ目の観点ですが、各教材には学習課題や学習内容に即した音楽を形づくっている要素が示されていて、生徒たちが主体的に学習できるように配慮されているのと同時に、創作活動と関連づけて学習できる内容も用意されています。また、それぞれの教材は、平易な曲から学習できるように配慮されており、無理せずに基礎的な技術を習得できるように工夫されています。

5つ目の観点ですが、各界の著名人からのメッセージや同世代の音楽活動の様子を掲載し、生徒が意識的に生活や社会の中の音や音楽との関わりに目を向け、考えられるような工夫がされています。教科書の巻頭をご覧ください。これは、ピアニストの反田恭平さんの写真と言葉が掲載

されています。現在、反田さんは、ピアノを取り上げたアニメーションのピアノの吹き替えや、ドキュメンタリー映画で特集されるなど、クラシック界だけでなく様々なメディアで活躍しており、アーティストの写真が取り上げられることで、生徒たちの音楽表現に対するの興味が高まる工夫がされています。また、巻末には、部活動を通して和楽器の合奏に取り組んでいる中学生が紹介されています。太鼓や箏の演奏になじみのない生徒たちにとって、部活動で熱心に取り組む同年代の姿を知ることが、これから学習する楽器の興味を高める材料になると思われます。

続いて、2、資料についてです。1つ目の観点は、QRコードについてです。そして、2つ目の観点では、学習している楽器の疑問点を自分で確認できるように様々な工夫がされています。教科書24ページご覧ください。ここでは、アルトリコーダーのシラソの運指を学習する内容ですが、教科書の左側に運指が絵で表記されているとともに、リコーダーの演奏のポイントをQアンドA形式で掲載されており、生徒たちが自身の学習の課題点を自己管理できるようになっています。

続いて、3、表記・表現についてです。教科書の楽曲の全ての音符や記号、歌詞が適切な大ききで記載されています。特に和楽器では、和楽器特有の記譜を掲載するなど、様々な指導実態に対応できるようにされています。

2つ目の観点ですが、巻末に音楽の約束というテーマ、コーナーを配置し、音符、休符、記号等の解説がされており、教材曲で使われている演奏上の記号を自主的に学習することができるようにされています。

最後に、4、総括ですが、教科書の多くの部分に資料のコーナーが掲載されており、その中には、日本の楽器だけでなく、各国の民族音楽で使われる楽器の紹介がされていたり、バンドのスコアが掲載されたりしており、日常生活と音楽で学習した内容の関連を感じながら学習できるように工夫されています。

以上で、器楽の教科書についての説明を終了させていただきます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 まず、選定委員としてのどの教科書を推薦するかご説明願います。

瀧田選定委員長（北中校長） 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告、さらに法定教科書展示会場において、来場者の皆様からご提出いただいた意見なども参考にして協議を行いました。

協議終了後、選定委員13名でしたが、全員が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載して無記名投票いたしました。

65が満点ということになります。結果でございますけれども、17番、教育出版が53点、27番、

教育芸術社が65点という結果でした。

本選定委員会としましては、点数の多かった中に、65点の教育芸術社、53点の教育出版を推薦いたします。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員会では、具体的にどのような話題が出ましたか。

伊東選定委員（栄進中教頭） 選定委員会では、基礎・基本を習得させるための工夫について各社ゴールを見据え、基本的な内容から発展させ、技術の向上を実感できるように工夫しているということが出ました。

以上です。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 本当に基本的なことで申し訳ないのですが、アルトリコーダーというのは、中学生の単元でやるのですか。

伊東選定委員（栄進中教頭） 大体の流れとして、小学校でソプラノリコーダー、そしてそれを踏まえて中学校ではアルトリコーダーを学習するような流れはありますけれども、最近のその流れの中では、アルトリコーダーの学習をしないことも多くあります。

以上です。

渡辺委員 あと1点いいですか。箏、琴というのは全部の中学校にあるのですか。

伊東選定委員（栄進中教頭） 越谷市の中学校には箏は全て備わっています。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

堀川委員 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったでしょうか。また、その主な理由について教えてください。

伊東選定委員（栄進中教頭） 学校からの推薦では、教育芸術社を推薦する学校が最も多く12票、次いで教育出版が8票という結果でした。

推薦理由といたしましては、教育芸術社では、それぞれの教材において分かりやすい資料の提示と解説及びワークシートがあり、生徒たちが活動しやすい。また、教材も自主的に表現の工夫ができるような内容が掲載されている。奏法についての資料が多く、和楽器を分かりやすく扱っている。発展的な楽曲についても、既習事項を踏まえた上での取り組みやすい楽曲選択となっているという意見がありました。

また、教育出版では、学習する楽器ごとに教材がまとめられており、生徒たちが取り組みやすい構成となっているため、学びのユニットが分かりやすい。写真が効果的に使われている。奏法

の解説が分かりやすいなどの意見がありました。

以上です。

堀川委員 ありがとうございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 器楽の表現の創意工夫について、各社どのような工夫が見られるのか教えてください。

伊東選定委員（栄進中教頭） 新たに学習指導要領に記載されたところであり、曲に対するイメージを膨らませたり、他者のイメージに共感したりして、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら、表したい器楽表現について考え、どのように器楽表現するかについて思いや意図を持つことである。どちらの教科書にも思考力、判断力、表現力の育成に関する工夫がされていました。

教育出版では、吹く楽器と弾く楽器についての共通性と固有性を考え、特徴を理解することができるよう書き込み欄を設けたり、自分の考えをまとめ、話し合いをしたりすることによって、協働的な活動が展開できるように工夫されています。

教育芸術社では、学習活動を進める上で感受したことを基に、思考、判断、表現を行うためのヒントをキャラクターの吹き出しで示すほか、思考した内容を記述する場面が制定されているという点があります。

以上です。

吉田教育長 ほかによろしいでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、協議を行います。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点、内容についてご意見はございますでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 どちらの教科書もそれぞれに工夫がなされていて、特に先ほどのご説明にもありましたように、写真が豊富で大きくて、それぞれ楽器の特徴や演奏の仕方が大変分かりやすいと感じました。

小学校の教科書では、鍵盤ハーモニカの導入の仕方やリコーダーの見たままを押さえればよいという向きの写真が載っているかどうかなどの違いが見られましたけれども、中学校ではどの楽器を授業で扱うのかによって、また教科書に対する見方も変わってくると思います。越谷市では、市内全校でお琴を扱いますので、琴のページを見てみますと、教出は36から43ページ、あと52ページ、それからアンサンブル、二部合奏ですね。78ページの「さくらさくら」、84ページ、「もののけ姫」で奏法の写真もあります。見比べますと特徴がすごくよく分かるのではないかと思います。

ですけれども、教芸は40ページから49ページ。49ページの「My Melody」に、お琴の旋律をつくることで日本の音階について理解をより深められるようになっていると感じました。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、私からですが、先ほど来お話を聞いている中で、内容の構成については教科書会社には大きな差はないということになりますが、教芸では音楽の多様性を理解することの一環として、和楽器について構造、あるいは奏法、創作など、49ページから69ページの30ページにわたって詳細に取り上げています。そういうこともあって、報告書に触れての選定委員のお話がありましたけれども、分かりやすいということが言われていると思います。

特に本市では、伝統文化部等で茶道、華道、箏曲に取り組んでおりますけれども、先ほど渡辺委員さんからありましたけれども、特に琴については40ページから49ページで取り上げ、49ページはさっき荒木委員さんからもありましたけれども、創作活動が充実されるということが言えるわけなのです。ちなみに、本市では、琴については、琴は全部の学校にもあるのですけれども、全中学校で取り扱っていることがあります。

ほかにございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 先ほどから話題になっている琴のことですけれども、やはり日本伝統文化クラブの活動があったり、あるいは今年はどうかなあれなのでしょうけれども、文化伝承の集いがあったり、様々な場面で子どもたちも触れ合う機会も多いので、この扱い方について、2つの教科書会社とも大分丁寧に扱っている印象を受けました。

教育出版も結構練習曲などいいものが出ていて、こういうのもやっていくときっと面白いだろうと思ったのですけれども、前提として、教育芸術社では、琴に限らずですけれども、演奏する曲が多いですとか、あるいは曲のバリエーションが豊富だとかという意見とか、あるいは小学校の既習事項を踏まえて、基礎的な内容を確認しながら学習できるということが学校からの声として上がっているのも、そのあたりが学校としては扱いやすいと捉えたのかと考えました。

それぞれよさがあるのだけれども、学校からの推薦も教育芸術社が多かったと思います。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。内容についてはよろしいでしょうか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 それでは、資料と表記・表現、総括については、まとめてお願いしたいと思いますが、ご意見ございますでしょうか。

先ほどの内容の中でも含まれておりましたので、この点はよろしいでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 ステイホームで大人も楽器を新たに始めたとか、昔やっていた楽器をもう一度始めたという話も耳にしました。中学校を卒業すると、高校でも芸術科目が選択制になったり、あと就職したりと、音楽という教科からは離れてしまう生徒も多いと思うので、音楽は勇気をもらえたり癒やされたりといった力がありますので、ぜひ中学校で生徒たちが思う存分音楽を楽しめるよう、そして卒業してからも音楽が心の支えとなるよう願っております。

以上です。

吉田教育長 ほかにはよろしいでしょうか。

この観点でほかに協議したい内容はございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、音楽（器楽合奏）の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いします。

〔投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、進藤委員、それから荒木委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号、発行社名、評価点の合計の順番で、発行者の番号の順に読み上げます。

17番 教育出版社 25点

27番 教育芸術社 30点

以上のとおり音楽（器楽合奏）の教科用図書は、27番、教育芸術社を採択することに決しました。

◎休憩の宣告

吉田教育長 それでは、休憩したいと思います。

1 時再開いたします。

休憩 午後 0 時 0 0 分

再開 午後 1 時 0 0 分

◎開議の宣告

吉田教育長 それでは、会議を再開いたします。

美術の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 美術の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

小林選定委員（千間台中教頭） よろしく願いいたします。調査報告書を基に調査の観点について、3つの教科書ごとにご報告をいたします。

1 番、（1）についてですが、開隆堂。各題材において3つの柱をそのまま3つの目標として明確化を図っています。各題材の主文において、形や色、イメージや特徴といった造形的な視点が明記されています。

光村です。各題材において、表現と鑑賞の相互関連を意識し、学習の目標を2項目にして、明確化を図っています。文中に、こちらも形や色、仕草や感情といった造形的な視点が明記をされています。

日文です。各題材において学びの目標として3つの柱に基づく3つの目標が明記されています。こちらは造形的な視点という吹き出しをつくることにより造形的な視点で捉えるよう工夫されています。

（2）についてです。開隆堂。題材ごとに開き1ページがシンプルに構成されて、学習のポイントや発想、構想の方法、学習の進め方のヒントをマークで示すなど、生徒の発想を促すよう工夫しています。

光村ですが、著名な作品、活動に取り組む生徒の様子など、多様な情報を掲載しており、題材についてのイメージを広げやすくしております。

日文。参考作品や情景写真、アイデアスケッチを多く掲載することにより、生徒の発想や構想を促す工夫がされています。

（3）についてです。開隆堂。学習の意欲が高まるように、学びの地図や発見と創造、探求と継承と題した資料を掲載する工夫が見られます。

光村です。学習の意欲が高まるように、「美術って、なんだろう？」や「うつくしい！」と題した資料を掲載する工夫が見られます。

日文です。学習の意欲が高まるように、「中学校美術の世界へようこそ」や「この教科書で学ぶみなさんへ」と題した資料を掲載する工夫が見られます。

(4) についてです。開隆堂。人物の動きに注目して鑑賞できるように作品を多方向から撮影した資料を掲載し、学びの資料では、視覚特性に配慮した配色の工夫を行い、イメージを捉える手だてとしています。

光村です。作風が異なる生徒作品や多様な素材を活用した動きのある造形の紹介を行うことで、イメージを捉える手だてとしています。

日文です。作風が異なる生徒作品やアイデアスケッチ、鑑賞カードの紹介を行い、作品が生まれた背景やつくり方を掲載することで、イメージを捉える手だてとしております。

2 番の資料です。2 番の資料ですが、せっかく美術の資料ですので、少し教科書をお見せしながら説明をしたいと思いますが、開隆堂についてですけれども、発想を広げるために開隆堂は、共通のマークを使って表しています。例えば美術 1 の 39 ページの自然のデザインのところですが、葉っぱのマーク、共通のマークでここを発想ができるような手だてを工夫しております。

光村です。光村は、発想が広がるように、美術 2、3 の 11 ページに有名なレオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」が載っているのですが、ここにはトレーシングペーパーが今まではなかったのですけれども、トレーシングペーパーが入って、それに書き込むことによって、子どもたちが発想できるような工夫を行っています。

日文です。日文ですが、日文は全体的に生徒作品が大きく載っている傾向がありまして、例えば美術 1 の 18 ページですけれども、人物画が載っていますけれども、生徒の作品が大きめに載っています。そのことによって、子どもがイメージや発想をかけやすくなっているかと思います。

資料の (2) ですが、各教科書の巻末に学びの資料、開隆堂については学びの資料、それから光村については学習を支える資料、それから日文については学習を支える資料ということで、今までですと教科書以外に資料集というものを使っていたことが美術では多かったと思いますが、それを買うことなく、どの教科書も資料がついているというふうになっております。

3 番に行きます。3 番の表記・表現ですが、開隆堂、題材名は生徒の心に響き、内容が豊かにイメージされるように工夫されています。また、折り込みページが効果的に活用され、レイアウトは全ての生徒が見やすく、活動したいという意欲が湧いてくるように工夫されています。

光村です。題材の内容に応じて、表現中心の題材、鑑賞中心の題材と領域を明記し、絵や彫刻など、デザインや工芸という分野ごとに構成することで、生徒が学習の内容をイメージしやすいように配慮されています。観音開き等が設けられ、作品が多く掲載されており、視覚的に生き生きとした紙面構成で、興味・関心、意欲を高められるような工夫がされています。

日文です。題材名は発達の段階を考慮しつつ、生徒の興味・関心を引き出し、イメージを広げられるよう工夫しています。作品、図版は生徒の発想や構想、工夫が読み取りやすいように一部を拡大して掲載するなど、活動の際の参考になるように工夫されています。

4の総括です。各題材の他教科の学習との関連づけで学習することができるように、教科名と内容を示し、他教科との連携についての配慮をしています。図画工作との連携ですが、図画工作から美術へ学びの地図を配置して、連携が図られるようになっております。

光村です。他教科と関連する題材には、〇〇科とのつながりというコラムを設け意識をさせています。図工との結びつきは、1年の導入に「美術って何だろう」、「美術で学ぶこと」というページを設け、連携を図るようになっております。

日文です。他教科での学習を生かしたり、関連づけたりした題材や事例を掲載しております。図画・工作との連携については、「中学校美術の世界へようこそ」というものを設け、連携ができるようにされております。

以上でございます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、まず選定委員としてどの教科書を推薦するのか、ご説明をお願いします。

瀧田選定委員長（北中校長） 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告、さらには法定教科書展示会会場において来場者の皆さんにご提出いただいた意見などを参考にしながら協議を行いました。

協議の終了後、選定委員13名で、全員が3種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載して、無記名投票ということにしました。満点は65点ということになります。

結果でございますけれども、9番、開隆堂57点。38番、光村図書65点。116番、日本文教出版40点という結果です。

本選定委員会としましては、点数の多かった順に、65点の光村図書、57点の開隆堂、40点の日本文教出版を推薦させていただきます。

以上です。

吉田教育長 ほかに。

荒木委員。

荒木委員 選定委員会ではどのような話題が出たのでしょうか。

小林選定委員（千間台中教頭） 選定委員会では大きく3つの話題が出ました。

1点目は、興味・関心を持たせるための工夫はどのようなものかということで、実際の和紙の

風合いを使った紙で印刷されていて、原寸大の資料等で工夫をされている点がありました。

2つ目は、他教科や生活との関連については、3社ともそれぞれ関連の掲載がされていました。

3点目ですけれども、学校からの推薦数について、推薦数が多い教科書には、話題があったのですが、教科書については、生徒作品が多く掲載されていることや、技法、材料が多く掲載されていることが出ました。

以上でございます。

吉田教育長 ほかにございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったのか。また、その主な理由について教えてください。

小林選定委員（千間台中教頭） 学校からの推薦では、光村図書を推薦する学校が最も多く、13票でした。続いて、開隆堂8票、日本文教出版4票という結果でした。

推薦理由としましては、光村図書では、授業に沿った構成で使いやすい、題材と関連した著名な作品や制作過程を多数掲載してあります。生徒の発想を促すものである掲載がたくさん載っています。あと、先ほど申しましたように紙質の選定まで生徒の興味を引き出すことが意識されています。巻末の資料については、資料集を買う必要のないほど充実しています。また、開隆堂では、題材ごとに見開き1ページがシンプルに構成されて、学習のポイント、発想、構造の方法、学習の進め方のマークなどが示されて、発想を促すように工夫しています。

日文については、資料集で指導していた技能や美術史なども掲載されていて、見やすい内容となっている。近年の生徒の刊行作品も豊富に掲載されてありました。との意見がありました。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 続けてお聞きしたいのですが、この日文は、2年生、3年生の上下に分かれているのですけれども、これはどうですか。

小林選定委員（千間台中教頭） 今まで大体どの教科書も2つあったのですけれども、日文については3つということで、やはり学年ごとに1、2、3という少し発達段階ごとに合わせた作品の載せ方とか、あとは生徒作品の扱い方も3年次に行くに従って、生徒作品も載っているというような傾向が見られました。

渡辺委員 使い勝手としてはどうなのでしょう。やはり分かれている分、たくさん載っているからいいとか。

小林選定委員（千間台中教頭） その分はやはり掲載の数が増えるのとか、作品部分、写真の部分については、やはり2つの教科書よりはあると思います。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 堀川委員。

堀川委員 言語活動の充実を図るために、各社どのような工夫がされているのでしょうか。

小林選定委員（千間台中教頭） まず、開隆堂ですけれども、美術2、3の「ともに学ぶ美術」というところがあるのですが、そこに協働や協力して加工する題材が取り上げられています。

それから、生徒同士のコミュニケーション、言語活動が深められるように工夫されています。

また、鑑賞の学習の中において、作品から感じた自分の思いや考えが伝わることを通して、見方や考え方を広げたり、深めたりすることができるようにしてあります。作品とともに作者の言葉が載っておりまして、形と色彩、言葉を通じたコミュニケーション能力が高められるように配慮されていました。

日本文教出版ですが、協働して学ぶ姿の写真を掲載し、話し合う話題について具体的に示すことによって、生徒が言語活動を深めるヒントになるようになっておりました。

また、言語活動を育成するために、発想や構想の際に感じたことや、考えたことを言語化するためにアイデアスケッチを活用するその事例も紹介しておりました。

光村図書ですが、各題材の最初に、鑑賞図版が載っているのですけれども、そこに必ず問いかけになるようなものが設けられていて、生徒が主体的に作品を鑑賞し、自然と対話が生まれるような工夫がなされていました。

また、制作の意図を伝える作者の言葉も掲載されており、生徒のコミュニケーション能力の育成に充実を図るような配慮が見られました。

以上です。

堀川委員 ありがとうございます。

吉田教育長 ほかにございますか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、質疑を終わりたいと思います。

それでは、協議を行います。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見はございますか。

荒木委員。

荒木委員 どの教科書もそれぞれに工夫されていると思いました。

印象に残った点を中心に幾つか申し上げたいと思います。開隆堂は、まさに今生きて活動されている現代作家さん、特に日本人の現代作家さんの作品が多く掲示されていると思いました。

光村は、表紙を開くと、谷川俊太郎のこの「美しい」という詩があって、中を開けて見ていくと、本当に美しいと感じました。各ページが美しいのです。だから、見やすい、分かりやすいと感じました。教科書展示会のアンケートにも、見やすいという意見があったと思います。

日文は、先ほどもありましたように、1年、2年・3年上、2年・3年下と3冊に分かれてい

るのが最大の特徴です。それによって内容も豊富で、いろいろな観点から美術を捉えることができると思いました。生徒の作品だけでなく、生徒が作品を作製したり、鑑賞したりしているとこの写真が多く、美術という教科、授業をより身近に感じられるのではないかと思います。

あと、光村と開隆堂のこちらは2・3年の後ろの年表、美術史、光村の2・3年の94ページからと、開隆堂の118ページからです。年表を見比べますと、光村は年表自体にジャポニスムであるとか印象派であるとかが書いてあって、これはとてもよいと思いました。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 最近の子どもさんたちのなりたい職業の一つにユーチューバーというのがあるようなのですけれども、それに代表されるように、やはり最近の美術は、映像であるとか写真であるとか動画であるとか、ICT機器なしでは語れないと思うのですが、いずれの教科書もICT機器を使った美術に言及されておりまして、その中でやはり著作権であるとか肖像権であるとか、あと情報モラルについてもかなり記述がありまして、この辺り非常に今の子どもたちに沿った内容だと印象を持ちました。

以上です。

吉田教育長 ほかにありますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、今までもお話に出ているところかもしれませんが、これまでは開隆堂さんを使っていたと思うのですけれども、そのときには、作品の掲載数も多くて発想も豊かなのではないかと、そういった意見が聞かれたのですけれども、今回も見ておりますと、この光村で、導入で鑑賞の作品で非常に印象的なものが多くて、非常に学習の進め方が分かりやすいというような意見が出ていたと思いました。

特に学校からの意見でも出ていましたけれども、北斎とゴッホの対比ですとか、そういった工夫があるので、話し合い活動にもスムーズに入れるというような意見も出ていましたので、こういったところも一つ学校からの推薦が多かった理由かと思いました。

あと制作活動の様子とかも写真で非常に分かりやすいのではないかと、この辺が少し学校で考えられたと思いました。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

私からも、大方同じような意見なのですが、学びに向かわせる力、人間性ということで、学習指導要領では美術を愛好する心情など感性を豊かにするとあるわけなのですが、光村では、先ほど来出ているように、鑑賞のところで、例えば美術1の鑑賞のところで、19ページ、20ペー

ジでしょうか。まず、紙が違うとぱっと開いたのですけれども、多分こういう紙を使うのでしょうか。それから、30ページ以降、私もこれ俵屋宗達の風神雷神、これが最初かと思っていたのです、実はね。そうしたら、三十三間堂に行ったら、似ている彫刻があると思って、こっちを見ているのですね、これを参考にということで。しかも、非常に迫力のある見せ方をしているなど。それ以降もそうなのですが、屏風に、この空間がいいのでしょうか、専門家から言わせると。風神と雷神の間のこの空間が何とも言えないのだということです。見せ方がうまいと思います。

同じく56ページ、様々な美術作品が載せられていると思います。

それから、生きて働く知識・技能というところでは、学習指導要領には、対象を捉え造形的な視点ということ、先ほど選考委員のお話の中にも盛んに出てきました。造形的な視点を理解するところに表現方法を工夫し、創造的に表すことができるようにすると、こうあるわけですが、光村の美術1の12、それから24ページ、42ページ、このみんなの工夫というところがあるのですけれども、登場する生徒の制作過程を紹介することを通して、造形的な視点、このようにして見るといいのだよということなのではないでしょうか、そういう造形的な視点を理解しやすくしていると思います。

また、美術2、先ほど選定委員のお話もありましたけれども、トレーシングペーパーで、何のために入れているのだろうと、一点透視図をですか、それを分からせるためにということらしいのですが、非常におもしろいと思いました。

また、教科横断的なカリキュラムの視点ということで、これはどの教科書にも関連が出ていましたが、光村の美術1のところでは、道徳科とか、あるいは社会科とのつながりが入っていて、そういうところがこの報告書の中には、トレーシングペーパーを用いた図版というところも、これも載っていました。それから、風合いの用紙、同じように、話を聞いて感じていたのだと思いました。

それから、制作過程が掲載されて、つまずきやすい箇所の解説が多いという捉え方もしておりました。

私からはこんなところでありますけれども、ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 それでは、2番目ですけれども、資料と表現、それから総括については、まとめて協議したいというふうに思いますので、何かございましたらご意見をお願いいたします。

野口委員。

野口教育長職務代理者 日文も色の発色は非常にきれいで、感動を与える作品も多く載っているという印象は受けているのですけれども、これはやはり先ほど教育長さんからもお話しがあったように、最後の晩餐のトレーシングペーパーとか、あるいは和紙の風合いとか、そういったところでは光村の資料については、やはりこの辺が引きつけているのかと感じました。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 出尽くしたようですが、よろしいですか。

このほかの観点で協議したい内容はございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 では、ないようですので、これより美術の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計点が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いします。

〔投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

それでは、投票を終了いたしました。

開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、渡辺委員、それから野口委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

投票結果については、発行者の番号、発行社名、評価点の合計の順番に、発行者の番号順に読み上げます。

9番 開隆堂出版 25点

38番 光村図書出版 30点

116番 日本文教出版 22点

以上のとおり美術の教科用図書は、38番、光村図書出版を採択することに決しました。

特別教育に係る教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 特別支援教育に係る教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

瀧田選定委員長（北中校長） それでは、説明いたします。

特別支援教育の教科書は、文部科学省の著作ですので、様々な障がいを持つ生徒たちがおりますけれども、この生徒の実態に合わせて使用できるかどうかということについて、お決めいただくことになると思いますけれども、国語、数学、音楽の3種目でそれぞれ星4つ、それから星5つの2種類の教科書がございますが、全体としてご説明をさせていただきます。4つの観点ごとにいたします。

最初に、国語です。ふだんの日常生活に関わる身近な場面を例に取って、せりふの口調で表現例が具体的に示されているので、伝えることに苦手意識のある生徒でも扱いやすい内容となっています。自分の考えを正確に伝えられるようにポイントが明確に示されていて、扱いやすい内容です。

まちの新聞を作ろうですとか、職場体験の感想文を書こうというような項目では、表現する力が向上するように、さらに発展性のある内容になっております。実体験に即してイメージしやすく、ポイントを明確に示されています。ほかの教科、領域との関連も図られているという工夫が見られます。

読み物の題材では、星4つでは、標識や水道水、星5つでは、学校図書館やスーパーマーケットなど、生徒が生活していく上でも必要不可欠な内容が多く含まれていて、扱いやすい工夫がなされています。

続いて、資料ですけれども、生活に密接に関連した内容の教材が取り上げられています。校外学習に行く前に確認しよう。あるいは、みんなに伝えようという内容において、実際の学校生活に即した場面設定がされていて、自分に置き換えてイメージしながら学習したり、学習後に実生活の中で活用したりできる工夫がされています。全体として、詩、俳句、ことわざ、物語、説明文、民話など様々な時代、様々な種類の作品が取り上げられて、どのような生徒でも興味・関心を持てる教材が選ばれています。また、全体として写真が豊富で、挿絵など学校生活や生活の中での場面絵が多く取り上げられていて、自分に置きかえてイメージしやすい工夫がされています。

続いて、表記・表現です。比較的文字が大きく記載されていて、漢字の画角などが理解しやすくなっています。また、文書の書き方、修飾語、差し言葉など、言語内容が比較的多く、言葉を理解させる工夫がなされています。全体として、星の数ごとに文字の大きさも異なり、見やすくなっているので、ルビも初出には振ってあって、再出の場合には振っていない。このような記憶を促すような工夫もされています。また、強調している箇所には表記の工夫があって、分かりやすくなっています。

総括ですけれども、日常生活に即した題材が多く、生徒にとっても身近な事柄で理解しやすい構成になっています。コミュニケーションの観点が分かりやすく取り入れられていて、授業の中で効果的な話し合い活動が実践できるようになっていて、全体として日常生活とのつながりが深く、

話す、聞く、書く、読むこと、それぞれがバランスよく構成されて、授業と日常生活とで総合的な学びにつながるよう工夫されています。

続いて、数学です。内容から申し上げます。教室にあるものの長さを測る。あるいは計算問題で買物の場면을想定させる。また、星5つ、発展的なものになると、卵やサッカーボールを用いて円と球の学習に役立てています。全体として、日常生活の場면을多く取り上げて、学んだことをこれからの生活に生かすことができるよう工夫されています。

それから、つまずきやすい時刻と時間の項目、あるいは少数の項目などでは、ストップウォッチやバスの時刻表、あるいは温度計や靴の大きさなどを例に挙げて、生徒が分かりやすくイメージできやすいような具体例を挙げています。全体として、複雑な問題が少なく、挿絵や写真を用いての穴埋め問題が多く設定されていて、数学に苦手意識のある生徒も安心して取り組める内容になっています。

資料です。授業の作業で扱う内容が実生活に即した場面設定を取り上げていて、学習した内容が生活のどんな場面に生きるのか。生徒が自分自身で分かるように、学習後も実生活の中で活用できるように工夫されています。筆算の仕方が1工程ずつ、筆算の形で書かれて解説されていたり、あるいはブロックを使った図解がなされていたり、問題文で表した状況や数の概念が絵や図によって可視化されていて、生徒の理解の手助けになっています。

表記・表現です。イラストや写真、視覚優位な生徒にはとても有効につくられておりまして、出題が視覚的に分かりやすいよう工夫されていて、各単元の状況のイメージ想起に効果的になっています。

それから、数の計算場面において、防災備品やクラッカー、懐中電灯、マスクなどの数を計算するというような内容があるのですが、数を整備する場面と、生活との関連が深められています。全体として、人の関わりの場面設定が多く、日常生活で数学が生かせることがよく分かり、将来の仕事につなげることも考えられ、人との協力の必要性を学ぶことができるようになっています。

総括です。ノートを10の束でまとめる、野菜を等しく分ける、やかんやポットの数量など、生徒の身近な生活である学校生活や日常生活での場面の学習のつながりが深くなっています。数の計算やグラフ、表や計算機など、より生活に実践的な内容が多く、効用的な内容で生徒の学びを広げる工夫がなされています。生徒一人一人が自ら考えることができ、数学の知識をどのように活用したらよいのかが効果的に学べるような工夫がされています。

続いて、音楽です。内容からお話しします。その場でできる手拍子リレー、それからパプリカといった体を使ったダンスなど、歌うことに苦手意識のある生徒も楽しめるような内容で構成されています。動きを考えて表現する活動も多く取り入れられており、全体として歌うこと以外にも音楽が好きになるように様々な内容で構成されていて、歌詞や曲調に合わせた挿絵や写真も豊富に用いられています。全体として、国民に広く親しまれ、歌いやすい曲が多く紹介されており、

前半では、リズム遊びや歌いながら簡単に踊れる曲、イラストに合わせて音楽を楽しむ内容が多く、後半では楽譜のページがメインとなり、難易度の高い合奏曲や合唱曲が取り入れられ、学習段階が工夫されています。また、和太鼓や尺八、三味線など日本の楽器を紹介しており、エイサーや東京音頭などの楽曲も紹介されていて、最初は歌詞のみの曲が多く、どの生徒にも楽しめる内容ですけれども、後半には楽譜のページを多用することで、譜面が読める生徒にも対応できる内容になっています。

次、資料です。全体として、歌唱、器楽、鑑賞の領域において様々な時代、様々な国や地域の文化が取り上げられていて、どのような生徒にでも興味・関心を持って取り組むことができるようになっています。歌唱教材では、詩として味わえるように、縦書きの歌詞を載せたページ、メロディーの流れを感じたり、読譜の学習に取り組めたりする楽譜のページとの両方があり、多方面から教材にアプローチできるような工夫がなされています。全体として、挿絵や写真、図がふんだんに使われており、作品のイメージや活動の内容が理解しやすくなっていて、特に写真は楽器や演奏形態、演奏方法などの情報が視覚的に得られるようになっています。

表記・表現です。全体として、写真イラストなど教科書全体に配置されており、視覚的情報が入りやすく工夫されています。音楽の基礎的技術、知識なども丁寧に記されています。また、各地方の文化的音楽、日本の古きよき音楽、世界の音楽、器楽、技術、そのほかのジャンルの音楽など幅広く音楽を学ぶことができ、日本の情景や各地方の文化、他国の文化について、音楽を通して学ぶことができるように工夫されています。

最後、総括です。星4つでは、「歌って踊ろう」、「セブンスステップス」、「タタロチカ」、「パプリカ」など、体を動かしながら学べる体育的要素と踊りながら英語を学べる言語的要素が含まれています。また、他国の踊りを学ぶことで、多国の文化も同時に学べる内容になっています。

星5つでは、歌舞伎「勸進帳」では、歌舞伎のくま取りについて調べる学習があり、興味を持った日本の音楽や世界の音楽など、自ら興味・関心を持った音楽について調べるきっかけづくりとしての工夫がなされています。全体として、発達段階を考慮して、生徒が楽しみながら学ぶことができ、日本と諸外国の音楽の違いを理解したリズム、歌、ダンス、鑑賞など幅広く音楽を学べる内容になっております。

以上です。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、選定委員会として文部科学省著作の特別支援学校中学部用教科用図書の採択について、どのような意向がありますでしょうか。

瀧田選定委員長（北中校長） 選定委員会では、教科書展示会会場において、来場者の皆様から提

出していただいた意見なども参考にしつつ、協議を行いました。

協議終了後、選定委員14名全員が教育委員会に推薦するかしないかについて記載し、無記名で投票いたしました。その結果、14名全員一致で推薦することに賛成となりました。

したがって、文部科学省が編集しております知的障がい特別支援学校用の国語、数学、音楽の教科書を活用することは、特別支援学級においても妥当と思われます。

以上でございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 現在、越谷市の中学校でこの文部科学省著作の特別支援学校中学部用教科用図書を使用している学校はあるでしょうか。

瀧田選定委員長（北中校長） 今年度、中学校では星4つの教科書を使用している学校が、特別支援学級設置校9校あるのですけれども、そのうち4校で使っています。通常学級で使用している教科書のほかに選択肢として、この文部科学省著作の教科書を選ぶことができるようにすることは、子どもの実態を考えたときに大変重要であると考えています。

吉田教育長 堀川委員。

堀川委員 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

瀧田選定委員長（北中校長） 今回の教科書から、星5つというのが新しくできたのです。これによって、少し難易度が上がるわけですが、今までよりも生徒の実態に応じた選択の幅が広がるということで話題になりました。

以上です。

堀川委員 ありがとうございます。

吉田教育長 ほかにございますか。

荒木委員。

荒木委員 選定委員には1号委員として保護者がいらっしゃいますが、どのような意見が出たのでしょうか。

瀧田選定委員長（北中校長） 1号委員としてお二方、保護者の方が入っていらっしゃるのですけれども、お二方とも、まず見て非常に分かりやすい絵や図やイラストなどがすごく直感的に子どもたちには捉えられるのだらうという意見ですとか、それから字の大きさ、この辺もいろいろな実態の子がいるのでしようけれども、この教科書は十分そういうものに対応できるのだらうという感想をいただいております。

以上です。

吉田教育長 ほかによろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、質疑を終わりにします。

それでは、協議を行います。

特別支援教育に係る教科用図書は、国語、数学、音楽を一括して審議いたしますので、ご意見をお願いいたします。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、国語、数学、音楽、全ての特別支援教育用の教科用図書に言えることですが、これらの文部科学省著作の教科用図書につきましては、いずれも発達に課題を持つ生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細やかな学習が展開できるよう配慮されておりまして、特別支援学級在籍生徒に対する一つの選択肢として有効ではないかと考えています。

特に生活との結びつき、関連等が明確ですし、また今回、星4つと5つということで分かれましたので、個人差が大きい、さらにまた力を伸ばせる部分については、よりきめ細やかに対応できるようになったので、有効ではないかと考えております。

以上です。

吉田教育長 ほかにご意見ございますでしょうか。

私からも同じようなことになってしまいますけれども、特別支援教育にあつては、生活的自立の基礎を培うことが大切になってまいりますけれども、その点、選定委員のお話にもありましたけれども、そういった点に配慮して、この教科用図書では、学習を進める上での手がかりが大変具体的で、かつ実際の生活に即して身近な題材が取り上げられておるように見受けられます。中学校では、使用実績もあり採択しておく必要があると考えています。

星のところを読んでいるのですけれども、星5の採択に当たっては、採択したら主たる教材として必ず使用するというものではありませんけれども、採択しないと使用できないという点があるので、使用可能な状態にしておく必要があると考えております。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより特別支援教育の教科用図書に係る採択に入ります。

特別支援教育の教科用図書については、文部科学省著作の教科書のみとなりますので、国語、数学、音楽を一括して採択いたします。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により、可とする場合はマルを、否とする場合はバツを記入し、多数決によりマルが過半数を超えた場合は採択するものとします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、投票をお願いします。

〔投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたします。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、堀川委員、それから進藤委員、お願いします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

投票結果については、マルとバツの合計を読み上げます。

マルが6票

バツがゼロ票

以上のとおり特別支援教育に係る教科用図書については、採択とすることに決しました。

国語の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 国語の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

小林選定委員（中央中校長） それでは、国語について説明をさせていただきます。

説明については、東京書籍、三省堂、教育出版、光村の順に、調査の観点ごとにご説明いたします。資料は、横にご覧ください。また、教科書は、1年生のものを使って説明をさせていただきます。

それでは、まず1の内容については、（1）知識及び技能が習得される工夫、社会生活に必要な国語の特質についての工夫。（2）は、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫など。（3）は、学びに向かう力、国語を尊重する能力の向上など。（4）は、読書に対する態度についての調査結果です。

それでは、まず東京書籍の1年生の教科書をご用意ください。28ページをご覧ください。（1）についてですが、国語科で育む資質、能力を言葉の力として提示しています。情報の扱い方に関する事項は、それぞれの単元でも扱っていますが、226ページをご覧ください。基礎編のその学びを支える言葉の力というところでも扱っています。

（2）伝え合う力を高めるために、先ほどの28ページにもお示しました各単元に言葉の力が明記されておりまして、主体的に課題に取り組み、社会生活に生かすことができるようになっていきます。

(3)では、126ページをご覧ください。古典の冒頭において古典を学ぶ意義が示されています。続けて3ページ、あと129ページをご覧ください。3年間で学ぶ古典の一覧がそのように示されています。

(4)については読書ですが、92ページをご覧ください。そこに示されましたように読書案内ですとか、1ページめくっていただいた94ページにおいて、読書活動の充実が図られています。

続いて、三省堂の教科書をご用意ください。(1)の知識、技能の習得等については、6ページをご覧ください。知識、技能について、言葉、言語文化、情報に整理をし、教材一覧に示し、各単元で表現について学ぶことを明確にし、さらに資料編に取り出して整理しております。

続いて、(2)についてです。思考力等ですが、314ページをご覧ください。思考力を深める方法を9種類に分けて提示し、単元ごとに学ぶ項目を上げ、資料を参照しやすくしています。

(3)については40ページをご覧ください。1年生では、40ページのように説明文の基本構造から始まり、それらが各単元に順次配置されています。さらに、資料編284ページをお願いします。ここでは、伝統芸能の世界に親しめる作品を掲載し、広がりのある学びができるように工夫されています。

続いて、(4)読書ですが、92ページをご覧ください。そこにあるように、「私の読書体験」では、作家の体験が語られ、中学生に向けた言葉として、教科書のための書きおろしなどがされています。

続いて、恐れ入ります。教育出版をお願いします。6ページをご覧ください。身につけたい言葉の力を言葉の地図として整理し、各単元で学ぶ内容を明らかにしています。言葉の地図において、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの3観点ごとに、さらには8ページ、1ページめくっていただくと、SDGsとの関連を示すように工夫されています。

続きまして、(2)47ページをご覧ください。「学びナビ」というところがあるかと思うのですが、教材ごとに「学びナビ」というコーナーで思考、表現の過程を提示し、社会生活で生かす思考力、判断力、表現力等を身につけられるようになっています。

続いて、(3)ですが、110ページをご覧ください。古典の作品では、作品の歴史的背景や全体像に触れられるような解説がなされています。さらに、286ページ、後ろになりますが、「言葉の実習室」というところに、それぞれの章段ごとについて掲載をし、多彩に味わえるように工夫がされています。

読書については、情報活用、図書館活用、読書交流の活動を組み合わせた教材を各学年1系列設けています。

続きまして、光村図書をお願いいたします。33ページをご覧ください。情報整理のレッスン、もう一つ、少し開けながらで申し訳ないのですが、52ページをお願いいたします。こちらは思考のレッスン、こういったコーナーを設けて、語彙力や論理的思考力を培う設定がされております。

142ページをご覧ください。社会生活から話題を集めたり、資料を比較したりする活動が策定されて、(2)について、ここではそれらが設定されているところです。

(3)に関連してですが、156ページをお願いします。3年間で学ぶ古典作品を年表の形で紹介をしています。156ページになります。また、278ページの巻末のところをご覧くださいいただければと思うのですが、ここでは古典や近代文学の名作を整理して紹介をしています。

(4)のの読書については、特設教材として82ページをご覧ください。読書生活を豊かにというのがあるかと思うのですけれども、また190ページ、読書に親しむといったところが上がっておりまして、多様な分野への読み広げるきっかけづくりをしています。

続きまして、資料の中の2つ目です。資料というところが項目であるかと思います。ここは少し教科書を使わないで、ここからは説明をさせていただきます。

これらについては、(1)として、学習効果を高めるための工夫、(2)挿絵や図表等の工夫について調べております。各社ともスマホなどで学習ができるようデジタルコンテンツの工夫が見られます。また、図表等についても色ですとかアイコンを駆使して分かりやすくつくられております。詳しくはそれらの資料をご覧くださいいただければと思います。

大きな項目の3番目、表現・表記について、(1)として、漢字や用語、記号などの使い方、文章表現の難易度などについての工夫について調査をいたしました。こちらにつきましても、それぞれ独自の工夫をしておりますので、後ほどお読みいただければと思います。

それでは、最後に4つ目の総括のところについて説明をさせていただきます。資料をご覧ください。

東京書籍では、言葉の力をしっかり鍛えること、想像する、思考する、伝え合うこと、学ぶ心に火をつけること、この3つを基本方針とし、基礎トレーニングと実践的言語活動の繰り返しによる定着、伝え合う活動を通して主体的、対話的で深い学び、学びたくなるキャラクターの配置による仕掛けなどがなされています。レポートや意見文の書き方などは、他教科との関連が図られ、リング、鍵のような、鎖のようなマークでそれぞれ示されています。

次に、三省堂では、言葉に学び、言葉で生きることを主題に、主体的に学ぶ、対話を通して学ぶ、深く学ぶことを基本とし、自ら学ぶ力、活用できる力、関わる力を育て、共生社会の一員としての考え方、自分の考えをつくること、言葉と文化の継承を編集の基本方針としています。本や新聞、インターネットから集めた情報を活用する言語活動などにおいて、他教科との関連も図られています。

続いて、教育出版です。言葉を見詰め、言葉と関わる力を育てること、日本と世界の課題に向き合い、未来を切り開き創造する学びを育てること、日本と郷土の伝統的言語文化を継承・想像すること、この3つを基本方針としています。持続可能な開発目標との関連を示し、現代課題と結びつけております。SNSに関する説明文など、日常生活とのつながりがある題材が示されて

おります。

最後に光村です。言葉はあなたと世界をつなぎ、あなた自身の世界をつくり上げるを主題に、確かな国語の力を育む、語彙力を高め、豊かな感性と論理的思考力を培う、国語の学びを社会生活や未来につなぐことを基本方針としています。生徒のやってみたいという気持ちを大切にしたい教材や、情報化社会に対応した各力を育む教材が示されています。

私からの説明は以上になります。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて、選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、まず選定委員としてどの教科書を選定するのか、ご説明願います。

瀧田選定委員長（北中校長） 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告、さらには法定教科書展示会会場において来場者の皆様からご提出いただきました意見などを参考にして協議を行いました。

協議終了後、選定委員13名ですが、4種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名投票をいたしました。65点が満点ということになります。結果でございますけれども、2番、東京書籍39点、15番、三省堂39点、17番、教育出版48点、38番、光村65点という結果です。

本選定委員会としましては、点数の多かった順に、65点の光村図書出版、48点の教育出版、39点の三省堂並びに東京書籍を推薦いたします。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 選定委員ではどのような話題が出たのでしょうか。

小林選定委員（中央中校長） 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。1つ目は、語彙などの取扱いの特徴として、語彙の拡充を図ったページがあり、各社語彙指導が重視されているということ、2つ目は、中学校での読書活動について、各社読書を取り立てて教材としたり、学習した文学教材や説明教材に関するほかの作品を紹介したりすることで、豊かな読書活動を推進していること、この2つが出ました。

以上でございます。

吉田教育長 ほかにございますか。

堀川委員。

堀川委員 各学年でどのような語彙指導を行うのでしょうか。

小林選定委員（中央中校長） 語彙については、量的なことと理解の2点があります。

まず1つ目、語句の量を増やすための重点としまして、第1学年では、事象や行為、心情を表す語句の量について、第2学年では、抽象的な概念を表す語句の量、第3学年では、理解したり表現したりするために必要な語句の量をそれぞれ増やし、義務教育修了段階として、全ての語句を対象に指導することを示しています。

もう一つ、語句についての理解につきましては、理解を深めるための重点としまして、第1学年では、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意すること、第2学年では、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解すること、第3学年では、慣用句や四字熟語などについて理解を深めること、また和語、漢語、外来語などを使い分けるようにする。こういったことについて指導を行っております。

吉田教育長 よろしいですか。

堀川委員 もう一点お願いいたします。選定委員会には、1号委員として保護者がいますけれども、どのようなご意見が出ましたでしょうか。

瀧田選定委員長（北中校長） 本を読むことを教科書で進めてもらっているのだということで、いろいろな情報が飛び交っていますけれども、正しい情報を何から得るのかということを保護者としても心配であるということをおっしゃってしました。幼いときからでこういうことで積極的に本を読めたらと考えていたけれども、こうやって教科書の中で本を読むことを勧めてくださるというのはありがたいというご意見をいただいています。

堀川委員 ありがとうございます。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったでしょうか。また、その主な理由について教えてください。

小林選定委員（中央中校長） 学校からの推薦では、光村図書を推薦する学校が最も多くて14票でした。次いで、教育出版、三省堂と東京書籍が2票ずつという結果でした。

推薦理由といたしましては、光村図書については、巻頭に1年間の学習の見通しを持つことができる全体像があり、どのようなことを学んでいくかが明確に記載されている。言葉の知識、語彙力を高めるための教材、読書資料が充実しているなどがありました。教育出版では、写真の情報を整理するなど、実生活への応用が可能な教育が充実している。三省堂では、「読み方を学ぼう」を読むことで、年間を通して読みを深められるようになっている。東京書籍では、導入、手引によって課題追求の手だてが区分されている。領域、系統の連続が分かりやすいといった意見がありました。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ質疑を終わりといたします。

それでは、協議を行います。選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてでございますが、意見はありますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 ご説明ありがとうございました。

私から、語彙指導、情報の扱い方、我が国の言語文化としての古典の扱い方などについて少し述べたいと思うのですが、今回の学習指導要領の改訂においては、語彙指導が非常に重視されていると聞いておりました。どの社も大変力を入れており、工夫が随所に見受けられました。先ほど各学年での学習内容についてなどの説明もありますけれども、各社系統立てて掲載しておりまして、特に光村図書では、先ほど説明にもありましたけれども、1年の80ページの言葉を集めようの紹介文の例は、表現の広がり方がとても分かりやすいと思いました。

また、2年生では言葉を比べよう、3年生では言葉を選ぼうとなっておりまして、各ページの最後には、巻末の語彙を豊かにのページに導く表示がありまして、学習がしやすく語彙を増やす工夫をされていると感じました。

また、各章の初めのところには、黎明という言葉で始まって時を表す言葉などが掲載されております。最後は、1年生ですけれども、197ページのしののめという言葉が出ております。それが1年生の最後のページに一覧になって、季節のしおりのページということで、このように一覧に掲載されています。とてもきれいで、言葉を増やす工夫がされていると思いました。

ほかに季節のしおりというページもあるのですが、春は桜にまつわる言葉、冬には雪にまつわる言葉など季節感も感じ、語彙が増える細やかな工夫をされておりまして、大変感心いたしました。

それと、東京書籍の1年生328ページのところには、言葉を広げようというところがありまして、唯一文例とともに言葉の説明がされておりまして、分かりやすいと思いました。

情報の扱い方については、情報の取り出しや関係性を整理し、言語活動等を通して思考する力をつけ、また表現するといった他教科や実社会でも必要になってくることですので、難しい内容だと思いました。3か年でどのようにしてそのような目標に向かわせていくのかなと考えながら拝見した次第ですけれども、三省堂の314ページ、先ほどの説明にもございましたけれども、思考の方法一覧の図解にしたものは分かりやすいと感じました。

光村図書では、9、10、11ページ、思考の地図も整理されていて、1年生の136ページで思考のレッスンとして原因と結果について、言葉やつながりについて説明し、その例も掲載しております。

教育出版では、比較して共通点と相違点を見つける例、東京書籍では、見せかけのコンペなど各社題材と関連づけて工夫されていると感じました。

古典についてですけれども、先ほども少し出ましたけれども、東京書籍の126ページ、「移りゆく浦島太郎の物語」は、古文を入れずに内容の変遷について紹介していて、次の「イソップ物語」を翻訳した「伊曾保物語」に続いていまして、古典に親しみやすくする工夫がされております。

また、2年生の131ページの「平家物語」、折り込みになっているのですけれども、すみません、今少し忙しくなるのでやりませんけれども、絵などはとてもきれいで、その世界観に興味を持ちやすくしていると感じました。

三省堂の125ページの源平合戦の名場面も分かりやすく、「平家物語」をより味わう工夫だと感じました。

光村では294ページで「百人一首を味わう」として代表的な句を紹介しております。

また、教育出版は、1年生の言葉の自習室というところに「小倉百人一首」を全て掲載しておりました。

私からは以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 私が、印象に残ったのは、教育出版のSDGsを一つの単元として扱っているところが新しいといえますか、小学校からこのSDGsはもうやっていると思うのですけれども、改めてこういう形で勉強するというのはとてもいいことだと思いました。

それと、同じく教育出版なのですけれども、各単元に読書という形で入れているので、しっかりと読める。しっかりと読めるというのは、何々について考えてみようとか、そういう課題が入ってくるのですけれども、ふつうは読むだけでいいのだと思うと、安心してする子もいると感じました。

それと、光村図書は、「読書」そのものを一つの単元として、たしか各学年に置いてあったと思うのですけれども、これも読書を楽しむということで、系統的に勉強できていいという印象があります。

以上です。

吉田教育長 ほかにいかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 私は、感想なのですが、私も教出で1年生のところにSDGsとの関係があるのはよいことと思いました。

あと、ご説明でもありましたけれども、光村の情報整理のレッスンと思考のレッスン、これは各学年にあるわけなのですが、国語はやはりきちんと論理的に読み解く力というのが求められ

と思いますので、そういったところは論理的な思考を深められるのでよいと思いました。

吉田教育長 ほかに。

進藤委員。

進藤委員 先ほど来、読書ということがしばしば話題に出てきているのですが、やはり教科書を通じて、ほかの本を読んでいくということは、皆さん、私も含めて経験しているところだと思いますけれども、いずれの出版社もたくさんの本の紹介があつていいと思いました。中でも、例えば三省堂などは、又吉さんなんかの「私の読書体験」という書きおろしがあつたりして、あとは光村であると、読書案内のところに「私の一冊」というところで、旬な人の一言があつて、やはりこういうことが読書に気持ちが向かう一つのきっかけになるのではないかと思います。

そして、古典に関しましても、例えば非常にアナログなところから言うと、東京書籍などは、折り込みのページでイラストを大きく取って紹介している。同じような手法は三省堂も取っていました。少しここでデジタル教材を言うてはいけないのかもしれませんが、光村などは朗読という形で関心を引く形を取っていて、初めて古典に本格的に触れるということで、生徒さんが取っつきやすいようにいろいろな工夫がされていると感じました。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、これまでも話に出てきたことと重複するかもしれませんが、各社ともやはり語彙指導については本当に力入れていると改めて感じさせられました。たくさんすることを学ぶことで大変だろうと思う反面、光村図書では、やはりこれまでも出ていたけれども、言葉を広げるとか言葉を集めようとか、あるいは季節の資料に言葉を味わうということで、特別随所に語彙指導が盛り込まれていて、効果的に指導しやすいということを各学校でも判断されていると思いました。

それで、光村の1年生で62ページ、63ページあたりで、情報を読み取ろうというところに少し注目したのですが、高校入試のために勉強しているわけではないのですが、県立の入学試験では必ずグラフが出て、そこで作文をするという問題が出るのですが、こういったたくさんの棒グラフ、円グラフ等で示してあつて、それを基に分かることを見出していくことや、あるいはいろいろ考えていることを話すということについては、非常に効果的に扱えるだろうと思いました。

以上です。

吉田教育長 ほかに。

私からも幾つか、語彙を豊かにするということは、全ての学習の基礎だと言われているわけですが、例えば光村の1年の196ページ、「少年の日の思い出」、ヘルマン・ヘッセ、高橋健二

という人が訳しているのですが、これが201ページですか、真ん中辺なんかを読むと、「幼い日の無数の瞬間を思い浮かべるのだ。強くにおう乾いた荒野の焼けつくような昼下がり、庭の中の涼しい朝、神秘的な森の外れの夕方、僕はまるで宝を探す人のように」、終わりから4行目なんかを見ると、「微妙な喜びと激しい欲望とが入り混じった気持ち」、こういった心情を表すたくみな言葉遣い、それから今度は216ページ、随筆2編、この空のところには、これ少し終わりに、「外に出ると一面に小雪が舞っている」、これ風花のことなのです。「一面雪なので、あたりが妙に、何か変だなとふと空を見る。そこには灰色の重たい雲がなく、抜けるような青空が」、何か読んでいてもすっきりするというのですか、これ遠方のところでは、これは218ページなのですけれども、その終わりのところに、これはお父さんとの思い出の中で、遠方に行くのだから、遠方に行ってしまったのですよね、お父さんが。歌うように遠方、遠方と繰り返す父の姿がまぶしくて、非日常的であり、私は連れていってもらえない遠方というところに深く深く引き込まれたと、こう書いてあるのですが、何かそういうそのときの空をどう表すのかという表現、父の言う遠方という言葉に込められたその思いなのですね。こういうのを表す言葉、感じる語感。語彙を広げると語彙を身につけるというのは、使わなければ駄目だという話を聞いているので、そういうことを学んだ後に、220ページですか、220ページに行って、ここでは体験ごとに随筆を書くというのもあるのです。そういうことを学習することで着実に語彙を豊かに高めるように、それを育ませるようにしているなど。しかも、文例が載っているのですよね。222ページにこの文例が載っている。非常に書きやすいのではないかと思います。

これは、こういう感性というよりも、176ページのこれは意見文ですね。ここでは自分の考えを確かなものにすることを狙いとした学習をしているわけですが、これを学習した後に、同じように186ページで、作品の書評を書く活動を設けているのです。書評を書く手順をしっかりと書いてあるのです。手順を学ぶとともに、自分の考えや読書の幅を広げる学習につなげていて、187ページでは、書き方と同じように併せて文例を挙げているのです。要するに、非常に流れがはっきりしていて、流れの中でそういう力を身につけるのです。そういうところが見えて面白いと思いました。

そこで、報告書を見たら、報告書の話もありましたけれども、学習活動内容の流れがつかみやすいように工夫されているのだと、あるいは生徒の実態に合っていて題材が魅力的であると、そういう感想を持ちました。

ほかにございますでしょうか。内容についてはよろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 では次に、協議の次の2番目、3番目ですけれども、これも先ほど来から資料と表記・表現、4番目の総括ということについては、まとめてご意見があったらお伺いしたいと思います。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、私、学校からの意見の中にあつたのですけれども、光村図書につきましては、生徒の気持ち、思いに添った作品「初めの物語」が掲載されているというところがあつたのですけれども、今教育長さんからもお話があつたように、光村では、いわゆる名作と言われる作品もありながら、また一方で、今の子どもたち、生徒の気持ちに添ったような作品を導入することによって、大変取り組みやすくなっていると思いました。

特に人間関係等について悩みが多いこの時期の子どもたちですので、等身大の自分と同じぐらいの中学生の話ということについては取り組みやすい、そういうところもまた学校で推薦が上がっている理由になっているのかと思います。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますか。よろしいですか。

これ以外の観点での協議したい内容はございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより国語の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、投票をお願いします。

〔投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、荒木委員、それから渡辺委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

投票結果については、発行者の番号、発行社名、評価点の合計点の順番に、発行者の番号順に読み上げます。

2 番	東京書籍	1 9 点
1 5 番	三省堂	1 9 点

17番 教育出版 26点

38番 光村図書出版 30点

以上のとおり国語の教科用図書は、38番、光村図書出版を採択することに決しました。

書写の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 書写の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

小林選定委員（中央中校長） それでは、調査の観点ごとに、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の順にご説明いたします。資料は横にご覧ください。

教科書をご用意ください。まず1の内容については、（1）知識及び技能が習得される工夫、社会生活に必要な工夫。（2）は思考力、判断力、表現力等の育成など。（3）は学びに向かう力、主体的に取り組むための工夫。（4）は毛筆と硬筆との関連。（5）は各教科や生活との関わりについての調査結果になります。

それでは、東京書籍の教科書をご用意ください。10ページをご覧ください。小学校での指導を生かせるよう、基本の点画の書き方を復習する部分です。ここで、「とん」、「すう」、「びたっ」を使用し、筆の動きを分かりやすく表現しております。

続いて、東京書籍は、活用ブックということで、後ろに、別冊にはなっていないのですが、黄色い枠で覆われたページがあると思うのですけれども、そこが活用ブックということで分かれています。この1ページをご覧くださいと、場面や目的に応じた書き方についてのページが設けられておりまして、この後開いていただくと、手紙ですとか、あるいは申込書、はがきなど身近なものを書く場面において、適切な文字や用具などを学ぶことができます。

50ページをご覧ください。「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「話そう」というコーナーがつくっており、立ち止まって考えたり、学習を深めたりしやすい構造になっています。

（4）についてです。14ページをご覧ください。硬筆の文字から課題を見つけ、毛筆で書くことで、学習内容を確認し、さらにそれをもう一度硬筆で書いて、定着を図る展開になっています。

（5）番についてです。20ページをご覧ください。美しく書かれた作品だけではなく、バランスの悪いものや改善が必要なもの、こういったものをあえて載せて考えさせるようにしております。

続きまして、三省堂の教科書をご用意ください。28ページをご覧ください。それぞれの単元が全体のどの部分であるのかインデックス方式で表示をしてあり、学びのその系統が分かりやすくなっています。28ページの上です。そこにインデックスのようなものがついている、ついているというか、表記されていて、どの部分になっていますよというのが分かりやすくなっています。

（2）についてです。64ページをご覧ください。目的に応じて書体を選択して書くためのペー

ジが設けられておりまして、例文を形式に沿って書かせるページとなっており、考えながら取り組むことができます。

続いて、(3)です。28ページをご覧ください。まず、さっき見たところでありますが、書いて身につけようということで、習得ができるような工夫がされているところになります。

(4) 番についてです。20ページをご覧ください。最初に毛筆で学んだことを硬筆に生かそうと書いてありますが、硬筆で同じ字を書かせるます目が用意をしてあり、字の形を繰り返し確認でき、書いて身につけることに主眼が置かれています。

(5) については、様々な書き込みのページが用意されていて、活用場面が設けられています。

教育出版をご覧ください。20ページをご覧ください。点画の書き方、文字の部分のバランスについて、書き込み式のページが用意しております。(2) については、相手意識、目的意識、方法意識が明示されておりまして、64ページをご覧ください。ここは2年生の単元になるのですが、行書と楷書を並べて違いに気づかせるというのをしています。

(3) になります。戻っていただいて8ページをお願いします。全ての単元が「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」の3段階で構成されておりまして、学んだことと自分の文字とのつながりが体験を通して身につくように工夫されています。

(4) についてです。58ページをご覧ください。毛筆での学習内容を硬筆でも生かせるように、毛筆の単元でも半分は硬筆の練習のページになっています。

(5) になります。12ページをご覧ください。巻頭にノートの書き方の説明があり、ふだんの学習に著者の学習が生かせるように、身につけた力が生かせるように工夫をされています。

それでは、光村図書をご用意ください。41ページをご覧ください。(1) についてです。基本の点画を意識して書かせるページで、「トン」、「スー」、「トン」という擬音語を使い、始筆、送筆、終筆のリズムのイメージがつかめるようになっています。

(2) についてです。83ページをご覧ください。学年をまたいで段階的に目標を追う構成になっていて、2年生の後半から文字を使い分ける内容になっております。

続いて、40ページをご覧ください。全ての単元が「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」の3団体で構成され、学んだことと自分が書く文字とのつながりが体験を通して身につくようになっています。

(4) についてです。71ページをご覧ください。全ての単元で、毛筆で書くことを学んだ後に、硬筆で文字を書き、学んだことを確かめる項目を設けています。

(5) について、109ページをご覧ください。学年でのくくりというのは設けずに、日常で役立つ書式として、たくさんの身の回りの例が写真で紹介をされております。

続いて、大きな項目、資料についてになります。2番の資料についてご説明します。1つ目は、

学習効果を高めるための資料の工夫、2つ目は、挿絵や図表等の工夫について調査いたしました。

東京書籍についてですが、(1)は、巻末に書写活用ブックと、先ほど黄色く囲まれているところと申し上げましたが、教科の学習や日常生活の中でよく使う書式をまとめております。それぞれの書式については、基本的な解説に加えて、より読みやすく書くための留意点を書写力アップとして示しております。

(2)については、84ページをご覧ください。伝統や文化の中で育まれてきた文字文化についてのコラム「文字のいずみ」が、それぞれの学年のコーナーで4か所から5か所用意されています。

続いて、三省堂になります。(1)基礎編・本編・資料編の構成でなっております、資料編には、「日常の書式」、「書写の広場」を設けており、日常生活、社会生活の中で必要となる書式を確認するなどを通して、幅広い知識を得られるようにしています。

また、48ページ、これは学年末のお手本のところなのですが、「やってみよう」というところで学習したことを生かして書くようになっておりまして、絵などを使った例が掲載されております。

教育出版をご覧ください。教科書の4ページ、(1)についてですが、4ページをご覧ください。1年生では、礼状やレポート、ポスターなどの教材があります。74ページに、2年生のところになるのですが、こちらは74ページになりますが、新聞、案内状などの例、こういったところで「学習を生かして書く」の中でこれらは扱っています。

(2)については8ページ、巻頭に学習の進め方を写真とともに掲載して、具体的な取り組み方が示されています。また、文字への興味・関心を高めるためのコラムとして、写真で多くの具体例を掲載しているところです。

光村図書になります。光村図書は、前にあるのが、ここではついているのですが、取り外しができるものに、前になっておりまして、別冊になっています。書写ブックというのがとじ込んでありまして、毛筆の学習を通して硬筆で書く活動を豊富に取り入れているところです。多分、少しのりのようなものでくっついているかと思いますが、実際子どもたちは取り外して使うことができるようになっています。

(2)で、文字への理解・関心を高めるコラムを絵ですとか写真等に掲載をしています。文字の歴史や文化への理解を深めたり、活字やデザイン等、そういったことに目を向けたりすることで、生徒の視野を広げられるようにしています。

大きな項目の3、表現・表記については、用語、記号などの使い方、それから教材の内容などについて、言語活動の発達段階に応じた工夫について調査をいたしました。それぞれ各社とも独自の工夫をしておりますので、後ほどお読みいただければと思います。

大きな4番の総括になります。東京書籍ですが、資料をご覧ください。かいつまんでの説明になりますけれども、東京書籍は、全学年で学ぶこと、学習の進め方が示され、1学年では楷書、

2 学年では行書、3 学年では卒業を見据え、視野を広げるなどの系統が図られています。また、日常生活との関連が図られ、教科横断的な扱いも可能となっています。

続いて、三省堂です。社会生活に生きる書写の力を3年間で育成することを狙いとして、系統的に学べるようになっています。手紙や新聞づくりなど、学校生活などへのつながりも図られ、他教科との関連も示されています。

教育出版です。1 学年は楷書、行書、2 学年は行書と日常生活、3 学年は行書と文字文化をまたぐなどの系統性が図られています。日常生活のつながりを持たせた学習活動が示され、国語との関連はもとより、他教科との関連も図られています。

最後、光村図書ですが、1 学年で楷書、2 学年で行書、3 学年では文字文化や様々な字体の学習が系統的に示されています。また、日常に役立つ書式や学校生活全般に関わるコーナーが示されています。

説明は以上になります。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、選定委員としてどの教科書を推薦するのかご説明をお願いいたします。

瀧田選定委員長（北中校長） 選定委員会では、調査報告書、学校からの教科書の調査研究報告、それから法定教科書展示会会場において来場者の皆様からご提出していただいた意見なども参考にして協議を行いました。

協議終了後、選定委員13名が4種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で無記名投票いたしました。65点が満点となります。

結果でございますけれども、2 番、東京書籍41点、15番、三省堂42点、17番、教育出版53点、38番、光村図書出版65点という結果でした。

本選定委員会としましては、点数の多かった順に、65点の光村図書出版、53点の教育出版、42点の三省堂を推薦させていただきます。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

小林選定委員（中央中校長） 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1 点目は、各社小学校学習内容の姿勢や点画などについて掲載されていること、また高校芸術へのつながりについても示されていること。2 点目は、言葉の大切さについて、国語の教科書と

関連づけて示されており、実生活との関連として、願書や宅配便の記入の仕方についても掲載しているということが出ました。

以上でございます。

吉田教育長 ほかに。

荒木委員。

荒木委員 学校の調査報告書では、どの教科書会社の推薦が多かったのでしょうか。また、その主な理由について教えてください。

小林選定委員（中央中校長） 学校からの推薦では、光村を推薦する学校が最も多くて11票、次いで教育出版9票、東京書籍4票、三省堂1票という結果でした。

推薦理由といたしましては、光村図書では、国語教科書との連動ができるため、書写の授業においても主体的に考えることのできる発問、教材の工夫がある。教育出版では、毛筆と硬筆による楷書や行書に関することの資料が見やすく掲載されている。生活に役立てる資料が効果的に掲載されている。三省堂では、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるための資料が一番多く掲載され、文字を効果的に書かせる題材も分かりやすく掲載されている。東京書籍では、基本的な文字の書き方だけでなく、字形や大きさにまで細かく説明されている。それに加え、日常生活との関わりもあり、工夫されている。そういった意見がございました。

吉田教育長 ほかにありますか。

渡辺委員。

渡辺委員 国語と書写の教科書の内容はリンクしていたほうがよろしいのでしょうか。

小林選定委員（中央中校長） リンクしたほうが望ましいと考えます。

教える教員が同じ場合が多いと思われ、国語では学習した既知の内容を書写で扱い、各活動を生活につなげることにともつながり、意欲づけに効果的だと考えております。

東京書籍では、例えば案内や報告文書の書き方、依頼状やお礼の書き方、竹取物語、本のポップのつくり方、平家物語、奥の細道、手紙の書き方、新聞の書き方、レポートの書き方、原稿用紙の書き方など、多くの内容を、その教科書の内容を書写にも、国語の内容を教材にしています。

また、三省堂では、竹取物語、枕草子、朝のリレー、さくら、グループ新聞が同様に掲載されています。教育出版では、竹取物語、短歌、論語、走れメロス、枕草子、平家物語、奥の細道、俳句など多くの内容をやはり教材にしています。

光村図書は、季節のしおり1、2、3、壁新聞をつくろう、冊子にまとめよう、手紙の書き方、はがきの書き方、送り状の書き方、原稿用紙の書き方など、こちらも多くの内容を教材にしているところです。

渡辺委員 ありがとうございました。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 選定委員会には1号委員として保護者がいますが、どのような意見が出ましたでしょうか。

瀧田選定委員長（北中校長） では、私からお答えします。

お二人の1号委員の中で、民間企業にお勤めの委員さんがいるのですけれども、その方から、字を書くことが最近減っていて、会社で面接に来た人が履歴書をパソコンでつくってくると言っていたらいました。授業でどのくらいそういうことで書写を扱っているのかというのが疑問なのだけれどもということでご意見をいただきました。

それに対して、学校の実態ということでお答えを委員がしましたけれども、1、2年生だと20時間ぐらい、それから3年生で10時間ぐらいという回答でした。国語の授業の中で書写を扱いますので、各学校多少の差はありますけれども、そのぐらいだということでした。

以上です。

吉田教育長 ほかに。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ質疑を終わりにします。

それでは協議を行います。選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見はございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 学習の見通しについては、各社3年間、各学年で学ぶことが明確に目次のところでも一見してすぐ分かるように表示されておりまして、スムーズに学習が進められていると感じました。

内容については、少し重複してしまうかもしれないのですけれども、光村の40ページ、漢字の筆使いというところなのでも、漢字の筆使いといった表示の下に、すぐ目標、こういうことを目標にして学習するということから始まって、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」と展開していく中で、下に筆使い、学習の窓でポイントが書かれていて、スムーズに学習がしやすくなっております。また最後には、学習を振り返るということで、復習がきちんとできるようになっております。

そして最後に、表紙の次にある書写分布でそれが繰り返し練習できるようにもなっております。光村さんに関しましては、表示も大きく、シンプルだけれども、とても丁寧で、私が例えば筆の練習をするといったことをイメージしても、分かりやすいと思いました。

教育出版さんも細かく丁寧に筆使いが示されておりました。コラムなど、書道や文字、デザインなどに興味を持てる工夫はされていると思います。

東京書籍さんは、目標から6つの課題を設けて、書写の鍵でポイントや大事な点を分かりやす

く示しております。

三省堂は、書き方を学ぼうでポイントを明確にして、子どもたちが学習する上での手助けになっていると思いました。

あと、2年生から学ぶ行書については、光村図書が毛筆での書き方やポイントまで丁寧に説明されていると思います。

また、楷書と行書のその文字の使い分け、目的や場面に応じての使い分けなどについては、各社大変丁寧に分かりやすく説明していると思いました。

また、光村さんで申し訳ないのですが、先ほどのご説明にもあったのですが、実生活の中で生かすというところの110ページの手紙の書き方、縦書き、次のページに横書きとあります。ぱっと見たときに、とてもきれいで見やすいなというふうに思いました。あと116、117とご説明にもありましたけれども、入学願書の書き方、宅配便の送り状の書き方、原寸に近い感じですか、とても見やすくて分かりやすいと思いました。

私からは以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、今の堀川委員さんのお話と重複するところがあるかと思うのですが、光村では楷書とか行書の目的がかなり明確に示されていると思いました。読みやすく書くための楷書、読みやすく早く書くための行書と、そしてそれから文字を使い分けるということで、流れが非常に分かりやすいと思いましたが、また今、堀川委員さんからもありましたけれども、日常生活に生かす場面といいますか、年賀状とかそういった場面についても大変豊富に取り扱っているという印象を受けました。

以上です。

吉田教育長 ほかに。

渡辺委員。

渡辺委員 堀川委員さんと野口委員さんと同じことなのですが、日常生活に生かすということ言えば、光村のほかにも、三省堂も資料というところで同じようになっていますし、東書も同じように願書の書き方からはがきの書き方まで、掲載されています。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

私からも2点ですが、光村では、全体的に動画のコンテンツが39枚、それから写真が161点載せてあります。これはほかの会社よりも多くなっていると思います。したがって、その分、分かりやすさや実感が伴っているのかと、したがって報告書でも分かりやすいということが挙げられていました。

光村の26ページの年賀状のところで、左側に、27ページですか、新年を祝う挨拶の言葉、文字

が多いほど丁寧で、これ上司に出す場合はこの辺りに気を使うのだなと思いました。

ほかにございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 では、1の内容についてはよろしいですか。

次に、資料、それから表記・表現、総括についてまとめてご意見を伺います。

野口委員。

野口教育長職務代理者 私が少し注目したのは、鉛筆の持ち方について、正しくない子が結構目につきまして、中学校でも少し指導したほうがいいのではないかと思う場面があったものですから、そうすると三省堂さんは、小学校のときと同じような感じで、12ページですか、姿勢から鉛筆の角度的なものまで細かく写真つきで出ているので、こういうことは必要だと思いました。

ほかのところでも出ているところはあったのですが、ただやはりさっき少しお話にありましたけれども、どうしても書写の場合は、国語の教科書との関連があるので、恐らく同じ会社のほうがきっと使いやすいのだろうという意見が多いのは当然と思いました。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

進藤委員。

進藤委員 先ほど内容のところでも出てきましたけれども、手紙とか日常で使える言葉というのは、それぞれの本にも出ているのですが、特に三省堂の86ページの手紙の書き出しの時候の挨拶などはほぼ常識なことだと思うのですが、我々が今見てもこうだったのかなと、非常に参考になる資料があると思いました。

吉田教育長 ほかによろしいですか。

別の観点で協議はございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより書写の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 それでは次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 投票をお願いします。

〔投 票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了しました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、野口委員、それから堀川委員、お願いいたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号、発行社名、評価点の合計点の順番で、発行者の番号順に読み上げます。

2 番	東京書籍	2 0 点
1 5 番	三省堂	2 3 点
1 7 番	教育出版	2 3 点
3 8 番	光村図書出版	3 0 点

以上のとおり書写の教科用図書は、38番、光村図書出版を採択することに決しました。

◎休憩の宣告

吉田教育長 それでは、ここで休憩いたします。

再開は3時半ということにいたします。

休憩 午後 3時20分

再開 午後 3時30分

◎開議の宣告

吉田教育長 休憩前に引き続き会議を始めます。

数学の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 数学の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

萩原選定委員（大袋中校長） それでは、数学部会長の萩原と申します。よろしく願いいたします。

選定資料の記載内容について、教科用図書を実際に見ていただきながら説明をさせていただきたいと思います。なお、教科用図書を比較するために、1年生の文字と式という単元を中心に説明させていただきます。というのは、小学校とのつながりのある部分や、初めての概念の内容の

ため、その章を選ばせていただきました。

では、選定資料の順番に沿っていきたいと思います。

初めに、東書、こちらになります。61ページをご覧ください。ショートピアでは、1こまの場面を提示し、生徒の疑問を引き出して、学習への動機づけをしています。

本棚の棒、いわゆるラックの柱の本数についての課題となっています。実際には、めくっていただいて62ページから設問があり、一連のストーリーで課題を解決していく構成になっています。ぱらぱらめくっていただくと、その章はずっと本棚の棒の数についてがずっと続いているストーリー性があるということです。

全体的に十分な余白のある学びやすいレイアウトにしています。行間が広く、数式が区別しやすくなっています。

65ページです。例題の類似問題、下の問1の(1)ですが、ダイヤモンドがついています。例題を意図的に振り返りながら学習できます。めくっていただいて、66、67ページです。ぱっと見ていただくと分かると思うのですが、例題や問いのマークには罫線がついていて、内容のまとまりが分かりやすくなっています。

69ページです。確認というのが右上にあると思います。小学校算数での既習事項を振り返っています。

めくっていただいて77ページです。上に紫色の丸がついていて、「学びを振り返ろう」というコーナーがあります。そこまでの学習ポイントなどを示しています。また、見方、考え方を働かせることのよさを実感できるようにしています。対話形式のヒントがあり、それまでの学習内容を確認させ、知識技能を深めています。

めくっていただいて81ページです。深い学びと右上にあると思うのですが、このページは、身の回りの問題を数学で解決させる工夫をしています。中央に、ひろこさんの引き出しがついていますが、虫眼鏡マークがついていて、数学的な見方・考え方を働かせるきっかけにしています。

戻りますが、深い学びのページというのは、右側に縦にずっと線が引いてあると思いますが、問題をつかむ、見通しを立てる、問題を解決する。めくっていただいて、振り返る、深めるというような学習の流れを明示しています。問題解決型の学習のページになっています。

この深い学びというのが各所にあるのですが、ずっと後ろの245ページ、少し飛びますが、245ページを見ていただくと、深い学びを振り返ろうということで、見方・考え方をより意識づけるコーナーが設置されています。

戻っていただいて87ページ、この2章の章末問題なのですが、4番と5番を見ていただくと、活用の問題ということで、自分の考えを記述で表現する問題が設定されています。

以上が東書になります。

次に、大日本です。同じく文字と式の章なのですが、66ページをお開きください。このピンク

色のです。大日本です。ここから章が始まるのですが、こちらはキッチンのタイルの枚数に関する課題となっています。

1枚めくっていただくと、68ページ、導入に、左上のところ。「考えよう」、はてなマークというのがついていて、生徒自ら疑問を見出すことができるようにしています。

少し飛んで77ページです。問題の内容に応じて、アルファベットのQ3の下に、判断しようという表記があります。この章はなかったのですが、少し戻ってしまうのですが、39ページ、同様にこちらでは伝えようというふうに、Q7です。伝えようというふうに表記されています。このように思考力、判断力、表現力を養う工夫をしています。

2章に戻っていただいて、90ページです。90ページ、確かめようというページなのですが、右側に各大問の学習の目当てと学習したページを示し、自分のつまずきに気づけるようにしています。

92ページです。こちら各単元に設定されているのですが、問題を見出そうから深めようのページがあり、身の回りの問題を数学で解決させる工夫をしています。問題を見出そう、解決の仕方を探ろう、解決しよう、隣のページへ行って、深めようというふうに学習の流れを明示しています。

めくっていただいて95ページです。こちら右上に思い出そうということで、関連する小学校の既習内容を振り返ることができるようになっています。

めくっていただいて96ページです。章の振り返りの問題の中に、一番下の8番のところですが、学びの振り返りというのを設定して、学ぶことの振り返りを促す質問を設けています。

最後に98ページです。活用・探求というページです。自分で課題を作成して取り組むことで、より数学的に考える資質能力を育成できるようにしています。

以上が大日本です。

続いて、学図です。こちらになります。文字と式は66ページ、ここから章が始まります。ストローの本数についての課題となっています。

67ページの下、次の課題でというもので、見通しを持って学習を進めるようになっています。

めくっていただいて70ページ、左下に「どんなことが分かったかな」として、ページの途中で学習した内容の簡潔なまとめがあり、理解を深めることができます。

同じく70ページですが、こちら例題や問いのマークに罫線のような線がついていて、内容のまとめが分かりやすくなっています。例題は破線、問題は実線という形になっています。

74ページです。こちら右上に振り返りとして、関連する小学校の既習内容を振り返ることができるようになっています。

81ページです。右の中央にエクスクラメーションマーク、いわゆるびっくりマークがついて、見方・考え方と表記されていて、課題解決への見通しを持たせています。

85ページです。こちらが数学的活動のページになっています。問題発見から解決までの過程が見えるように、左側に今どのような過程で学習しているかを明確にしています。問題を見つけよう、文字で表そう、めくっていただいて、幾つかの式をまとめて考えよう、新たな問題を見つけよう、文字式で表そう、まとめようというふうに、学習の流れを明示しています。

最後92ページです。この章の最後なのですが、章ごとにできるようになったことを確認できるようにしてあるため、自分のつまずきに気づけるようになっています。そのすぐ下には、さらに学んでみたいなことを自分の言葉で記入できるようなコーナーを設定しています。

以上が学図です。

続いて、教出です。こちらの1年生のものでございます。文字と式は68ページからになります。こちらは、69から文字と式が始まるのですが、その前の68ページに、この章で扱う既習事項の確認をするページがあります。1番、2番それぞれ青い三角で学びのマップと書いてあると思うのですが、巻末の266ページを見ていただくと、そちらに学びのマップと書いて、既習内容をまとめてあります。学年ごとのつながりも図式化されています。

めくっていただくと、学年ごとにどんな内容を学習したかが載っている、そういうものが巻末に付いています。

先ほどの68ページに戻っていただくと、そこへの案内が学習する前というところに明記されている、こういうつながりになっています。実際に文字と式は69ページから始まります。章の扉では、そこに写真があるように、社会や生活、先端テクノロジーなどに関する話題に触れています。数学が実生活で役立っているという意識を持たせています。

めくっていただくと、導入課題です。こちらでは東日本大震災に係るキャンドルライトの個数を課題としています。章の最初の課題につなげていくということになります。

めくっていただくと72ページです。右側の中央に数学的な考え方というコーナーがあり、数学的な見方・考え方を意識して学習できるよう工夫しています。

隣の73ページです。真ん中辺に、確かめ1、その下に問2とあると思うのですが、ぱっと見て、確かめはそのTシャツのようなマーク、問いはカマクラのようなマークです。というふうにマークで図の形を変えて、色以外でも問題の違いを区別できるように配慮をしています。

75ページをご覧ください。右側の中央に、戻って確認ということで、これも既習事項と関連やつまずきを確認させながら技能を身につけるような工夫をしています。

少し飛んで94ページをご覧ください。94ページ、95ページが問題解決のプロセスを示した問題を発見し解決する過程を経験させる工夫のページとなっています。問題を見出そう、問題をつかもう、自分の考えを持とう、友達の考えを知ろう、みんなで話し合おう、学習を振り返ろう、深めようというふうに、学習の流れが明示されています。

98ページです。ここまで学習してきたことのよさを、これもびつくりマーク、エクスクラメー

ションマークで示しています。ここまでの内容を生活や学習に生かそうとする態度を養おうとしています。

隣の99ページ、章の終わりに学習した内容の簡潔な文章の例題、まとめがあり、法則等の確認ができます。

最後です。101ページです。章の問題の最後に、学んだことを活用しようというコーナーを設置し、総合的、発展的に思考させるようにしています。文書で説明させるコーナーが101ページです。

以上が教出です。

資料の裏面になります。啓林館です。表側に「みんなで学ぼう編」と書いてあります。それと、裏側は、本来横にするのですが、「自分から学ぼう編」ということで、表と裏からの2部構成となっています。授業での学習は、「みんなで学ぼう編」、それと授業以外での学習が後ろからの「自ら学ぼう編」ということで、相互に効果的につながり合うような構成になっています。

では、文字と式の章ですが、56ページをご覧ください。こちらでは、学習の扉でマグネットの個数についての課題を設定しています。

1枚めくっていただくと59ページ、一番上ですが、こちらでも振り返り算数ということで、関連する小学校の既習内容を振り返れるようになっています。

同じページが一番下ですが、虫眼鏡のマークがあり、こちらで数学的な見方・考え方に触れています。

めくっていただいて60ページです。一番上に花のマークがあり、広げようで生徒に意図的に原則、法則を発見させることで、興味を持って学習できるようにしています。

68ページです。②番に、説明しよう、③番、同じく説明しよう。少し飛んで76ページ、こちらには話し合おうというコーナー、それと80ページ、まとめようというコーナーがあり、表現力や統合的に考える力を養うというのをしています。

82ページが章末問題になっています。右側の側注に、この章で学習したこととして、学習したページやポイントが書かれており、つまずきに気づくことができるようになっています。

2章にはなかったのですが、99ページをご覧くださいと、3章になってしまうのですが、利用場面ということで、その章で学んだことを利用して、身の回りの場面から問題を発見し、問題解決の過程を段階的に体得できるようなコーナーを設置しています。

めくっていただくと100ページ、101ページに、ステップ1からステップ3というふうになっていて、段階的な場면을説明して解決させる工夫をしています。ステップ1は、場面の状況を整理し問題を設定、ステップ2、見通しを立てて問題を解決、ステップ3、問題を広げたり深めたりしてみようというような学習の流れを明示しています。

以上が啓林館です。

次に、数研です。62ページをご覧ください。先ほどもありましたが、章の前に振り返りとして、

既習事項と確認問題とともにまとめてあります。こちらは、隣の63ページ、章の扉になっていますが、文字と式と学習するということで、アルファベットの確認をしています。課題の提起をここではせず、関連事項について触れています。

めくっていただくと、こちらから文字と式の章に入っていきますが、中央下、トライというところで、数学の有用性を感じられるような課題を設定しています。

隣の65ページを見ていただくと、先生と生徒が対話をしながら、吹き出しがたくさんついていますが、事業の流れをつかみやすくしています。

めくっていただいて、66、67ページです。ここに問いが何問かあると思うのですが、中1ギャップを考慮し、問いの文章表現が何々しましょうということで、小学校の表現と合わせています。例えば問い2、必要なマグネットの数を求めましょう。問い3、次の数量を文字式で表しましょうというような表現にしています。

72ページです。こちらもあり返りのコーナー、右上にあると思うのですが、関連する小学校の既習内容を振り返るようになっています。

隣の73ページ、下に囲ってある調べよう。飛んで76ページ、1ページですが、見つけよう。少し飛んで94ページにはやってみようなどのコーナーを設置し、統合的、発展的に考察する力を養うというのをしています。

88ページ、1番右下に探求ノート4ページという表記があると思うのですが、こちらの別冊、探求ノートというもののつながりを表記してあります。探求ノートでは、日常の問題を数学で完結させる工夫をしています。教科書の内容を深め、学びを発見させるものとなっています。

以上が数研です。

では最後に、日文、こちらになります。63ページ、こちらもありの初めに既習事項を確認できるようになっています。

めくっていただくと2章が始まるのですが、導入の課題では、棒の本数としています。

1枚めくっていただくと66ページ、最初のところに目当てを示し、考えようという言葉で意図的に思考しながら概念や法則を理解できるようにしています。

めくっていただいて68ページ、注意というのが真ん中と下にあると思いますが、問題を解く上での必要なポイントを示し、注意深く考え、既習事項を振り返る機会としています。

70ページです。こちらもありに確かめ算数ということで、関連する小学校の既習内容を振り返ります。

73ページ、下に身近な事柄とありますが、数学の問題をつくる過程を課題に取り入れています。

84ページ、右上に大切な見方・考え方のマークで、数学的な見方・考え方に繰り返し触れさせています。こちらでは87ページから、学び合おうとして、見通しを持とう、考えよう、めくっていただいて、話し合おう、振り返ろう、深めよう、もっと深めようとして、学習の流れを明示し、

数学的な表現を段階的に身につけられるよう工夫しています。

以上が日文です。

では、最後に補足をさせていただきます。資料の2については、各発行者、中学校生活や日常生活、身近な事柄に関するものを扱っており、大きな差異はありません。

3番の表記・表現については、ユニバーサルデザインに関してどの発行者もUDフォント、いわゆるユニバーサルデザインフォント、あるいは色合い、文節改良等の配慮をして研修しています。

3の(2)については、各発行者、用語・記号の精選や新出用語を太字、ルビで表記してよく配慮して、大きな差異はありません。

4の総括については、今説明を申し上げたものがまとめてありますので、ご参照ください。

以上で選定資料についての説明を終わらせていただきます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、まず選定委員としてどの教科書を推薦するのかご説明ください。

瀧田選定委員長(北中校長) 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告、それから法定教科書展示会会場において来場者の皆様からご提出いただいた意見などを参考にしつつ、協議を行いました。協議終了後、選定委員14名全員で7種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。70点が満点となります。

結果でございますけれども、2番、東京書籍70点、4番、大日本図書35点、11番、学校図書45点、17番、教育出版40点、61番、啓林館58点、104番、数研出版39点、116番、日本文教出版34点という結果です。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、70点の東京書籍、58点の啓林館、45点の学校図書を推薦させていただきます。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

萩原選定委員(大袋中校長) 選定委員会では、大きく2つ話題が出ました。

1点目は、練習問題の分量について、各社問題量は多く、応用的な問題も大きな差はないこと、
2点目は、先生方が教科書を選ぶ際の基準の一つとして、生徒が自ら教科書を使って学習を進めることができるのか、また苦手な子どもでも教科書を開きたくなるような工夫が見られるかについて出ました。

以上でございます。

堀川委員 ありがとうございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 学校の調査報告書では、どこの教科書会社の推薦が多かったのでしょうか。また、その主な理由について教えてください。

萩原選定委員（大袋中校長） 学校からの推薦では、東京書籍を推薦する学校が最も多く14票、次いで啓林館5票、学校図書3票、教育出版と数研出版2票、日本文教出版1票という結果でした。

推薦理由としましては、東京書籍では、問題解決型の学習を重視しており、知識や議論を深める手助けとなっている。また、思考力、判断力を深める深い学びのページがほぼ全ての章に設けられている。啓林館では、問題解決型の課題においては、身の回りの場面から問題を見出すことができる工夫がなされている。学校図書では、新学習指導要領で追加された内容がスムーズである。また、各章の導入ページが大きく掲載されており、生徒の興味が湧きやすくなっている。教育出版では、課題が明瞭に示されていて、単元ごとに評価が適切にできるように内容を設定されている。数研出版では、探求的な活動を行うための探求ノートが附属しており、より数学のよさを強調した授業展開が可能となる。最後に、日本文教出版では、巻末に対話シートがあり、表やグラフに書き込みながら解くことができる。また、ノートよりやや小さいサイズになっているため、ノートに貼りつけることもできるなどの意見がありました。

以上でございます。

吉田教育長 ほかに。

荒木委員。

荒木委員 小学校の算数科との関連は、各社どのように示されているのでしょうか。

萩原選定委員（大袋中校長） 東書では、巻頭にある目次の前の学習に、小学校の既習内容との関連が分かるようにしています。また、本文の30ページ、少し確認算数や、巻末の305から306ページ、算数の確認で、小学校の既習内容のうちつまずきの多い内容を確認できるようにしております。

大日本では、2から3ページの目次に、学年は書いていませんが、これまでに学んだことのつながりを示しており、巻末の280から285ページに、小学校算数の振り返りを設けております。

学図では、10、11ページ、127ページ、165ページ、231ページ、領域ごとに振り返りページを挿入し、小学校でどんなことを学んできたか振り返ることで、スムーズに学年の学習に入っていくようにしております。

教出では、12、19ページなど、適宜小学校で学習した既習内容を振り返ることができるようになっており、巻末266ページの学びのマップでは、小学校で学習した主要内容を領域ごとに分けて

一覧で掲載しており、中学校数学との系統性についても示しております。

啓林館では、50ページ、122ページなどを振り返り算数として、小学校算数の内容を示してから中学校の学習に入るようにしており、巻頭7から12ページには、算数を振り返ろう等を設けております。

数研132ページ、206ページなど必要に応じて小学校の内容に触れております。

最後に日文です。巻頭8から11ページに、算数の確かめ、巻末274から278ページに算数の確かめ（問題編）を設けています。また、次の章を学ぶ前には、その内容に関係のある算数の既習内容の問題を扱っております。

以上でございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員会には1号委員として保護者の方がいらっしゃると思いますけれども、どのような意見が出ましたでしょうか。

瀧田選定委員長（北中校長） それでは、私からお答えします。

保護者である1号委員のお一方から、そもそも数学は自分が苦手なので、見やすくないと教科書を開こうという気にならないと、そんな中で、数学の先生方は教科書を選ぶ中で一番重視されているのは問題の数なのではないかというご質問をいただきました。それに対して、選定委員からは、やはり子どもたちにとっても教科書をどうやって開いてもらえるかが大事なポイントで、それに対しては、写真やイラストはやはりたくさん使われていることや、それから自分で勉強を進められるかどうかという視点が大きいのだという回答でした。

自分で開いて自分なりに学習を進められるのかどうか、既習事項とどうつながっているのかというのが分かるような教科書が取り組みやすいということで、そんな教科書を選ぶのだというご意見でした。

以上です。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 ありがとうございます。

あと、教えていただきたいのですけれども、東書はゼロ章を設けているのですけれども、これはどのような意味があるのでしょうか。

萩原選定委員（大袋中校長） 東書の特徴の一つなのですが、9ページにゼロ章ということで、算数と数学のつながりを1年生の初めに整理をするという章になりますので、算数から数学に変わるというのを明確にするためにゼロ章という章を設けているという形になります。

以上でございます。

渡辺委員 ありがとうございます。

今回かなり、中学2年生のところに3年生から下りてきたりとかしていて、学ぶ量が多いという印象が私にはありました。例えば四分位数であるとか箱ひげでしたでしょうか。特にこの教科書が分かりやすいとか、そういうのは何かありますか。

萩原選定委員（大袋中校長） 今のお話は、高校の内容が中2に来ました。四分位数と箱ひげというやつですかね。各社、問題で流れ、あるいはストーリー性があるものと、あとは新学習指導要領の中で、体力テストの数値を使っている記述がございます。それに沿って、教科書でも子どものボール投げの資料にし、学習指導要領と合わせているものもあれば、流れを重視しているものもあると、各社それぞれ特徴があったと感じています。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ質疑を終わりといたします。

それでは、協議を行います。選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 ただいまの選定委員さんから、どの教科書も練習問題の分量については十分であるというお話に出たと思います。

それと、苦手な子も教科書を開きたくなるような、そのような工夫が、選定の一つのポイントかと思いますが、保護者の委員の方からもやはり見やすすくないと子どもは開こうとしないのだということをおっしゃっていたということを今伺いました。そして選定委員さんから、まずはそうするためには、小学校とのつながりというところがどうなっているかというのが大切ななと思ひまして、少し調べてみました。

調べた範囲なのですが、ただいまとても詳しく内容についてはご説明いただいたので、そのところは省きまして、まず小学生のときに習ったまとめがどのように各教科書なっているのかというのを少し調べてみました。まず、大日本は、巻末に、280ページなのですが、このところに非常に丁寧にまとめてある印象がありました。要点を左側に、そして右側には具体的に確かめの計算が入ってきて、分かりやすいと感じました。

そして、学図は先ほどご説明していただいたと思うのですが、章のところで、領域ごとに小学校の振り返りが入っていたかと思うのですが、例えばこんな感じで章がありまして、章の前に1回振り返りという形で、簡単なイラストが入っていて、数学が苦手な子でも、次どんなことやるのか不安な子も入りやすいかなと、そして章とびら（2）の1ページのところにも同じように、少しゲーム感覚のイラストが入っていて、これも苦手な子にとっては分かりやすいと

思いました。また、その章扉のところは、子どもに気づきを促すような問いかけが入っているところもいいなと感じました。

教育出版の巻末のやはり266ページの学びのマップです。これが、小学校で学んだことを忘れてしまった子には分かりやすく、小学校で学んだことが中学校で学ぶときには、これに当てはまるよとか、逆に、今中学校で学んでいる単元で分からなくなったら、小学校単元に戻れるのかなというような感じで、これはよいと思いました。

それで、日本文教は、先ほどご説明いただいたとおりなのですが、見開きで章扉がありまして、やはり学ぶ前にということで、小学校で習ったことが入っております。

東書もただいま説明していただいたとおりなので、これは省略したいと思いますが、このような形でやはり教科書を選ぶに当たって、小学校とのつながりというのが大切なのではないかと強く感じた次第です。

それと、啓林館は、後ろからは自ら学ぼうということで、自学自習というか、難しいのも少しありますので、必ずしも簡単なものだから自分でやっていこうという感じではないのですけれども、このように分けてあるのも面白いと感じました。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 今の渡辺委員さんと同じことになるのですけれども、やはり数学というのは、過去にやったことのさらに積み重ねということなので、私はどちらかというと数学は苦手だったのですが、自分自身どこでつまづいたかよく覚えていませんが、新しいことをやったときに、前のことが分らないと、その先は絶対分らないというようなシステムになっていますので、過去の既習事項が一目で振り返れるというのは、とても大きなことだと思います。

そういった意味では、教育出版さんが巻末のところに、1つ前、だから中学校1年生であれば小学校、中学校2年生であれば中学1年の振り返りが一覧表になっていて、これは非常に検索する際に見やすいと思いました。

あと、東書さんに関しましては、やはり目次のところではっきり中学校1年の項目だよ、あるいは小学校だよということが明示されていますので、そこら辺も振り返るときに非常に役に立つのかと思いました。

私もこの啓林館のこの前と後ろの工夫は面白いと思いましたし、あとは学図の最後のところがホワイトボードになっていまして、グループ学習などにも使えるのかと、それぞれ工夫されていて面白いと感じました。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 私も進藤委員さんの意見に同感なのですけれども、あとそれに関連してといいますか、東書さんの教科書は、少し確認、学びを振り返ろう、深い学びというのが非常によく理解が高まると思いました。中でも深い学びにおいては、流れが明示してあるのですけれども、まず右ページにありまして、次のページに考えが見えないように工夫されて、しっかり考えるということ、深い学びができるということで、よいと感じました。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それぞれ各委員さんからいろいろと各社の特徴等についてもお話いただきました。やはり数学の学習においては、片や問題解決的な学習を通して思考力を養うのだということで、日常の問題については、自分の力をつけるという部分と、それからやはり基本的なことについては確実に身につけていかなくてはいけないという部分がありますので、そのあたりのバランスをどう取っていくかということが基本的に大事になってくると思うのですけれども、そのような中で、東書がいつも選ばれていることが多いかと思うのですけれども、各社とも問題解決型の学習を、特に導入に取り入れて、学力の向上を図ろうという工夫がされていると思いました。

そのような中ですが、東書では、深い学びと称して、その問題解決型を導入で、学習したことについては、また巻末でも深い学びを振り返るのですよということで、また次にも使えるような工夫ということでは、これらの特徴を出していると思いました。

また、習熟の段階では、練習の段階では基本の問題とか、あるいはさっきのダイヤモンドをつけて、例題と同じようにできるということでは、苦手な子にも取り組みやすいような部分もありますし、基本の問題で振り返り、あるいは章の問題のAとかBとかということで難易度を少しつけて、それぞれの実態に応じて取り組むような問題の構成が分かりやすいと思いました。

さらに、巻末にも補充問題をつけていますので、それも分かりやすいと感じました。

先ほどゼロ章という話がありましたけれども、たしか素因数分解は今までは中3で習ったのですか。

萩原選定委員（大袋中校長） そうですね。

野口教育長職務代理者 何か平方根のところで出てくるのが、今度は中1に下りてきたような形になったのですか。それが掛け算のところからずっと入れるようにしてあって、なるほどこういう工夫もあるということで、少し私も勉強になったのですけれども、そういったところもきっと中学校の数学に入ったところで掛け算九九と連携してやっていくと、そんなに難しくないよという抵抗をなくす意味でもいいと思いました。

そういったことで、少し東書について、もしかすると現場からの声も、使いやすいという意見が多いと思いました。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

では、私から幾つかお話しさせていただきます。社会科の教員だったものですから、算数や数学の考え方を使っているいろいろグラフ化したりさせようと思っても、なかなか割合の円グラフが描けないのです。応用が利かないなと思いつつ授業をやったことがあるのですが、どちらかというともあまり数学に興味を持っていたタイプではなかったもので、でもいろいろ聞いていると、タイプによってそれぞれ違うと思って聞いていましたけれども、あるとき、数学も体感できないと理解できないのだと、そんな、逆ではないのと思ったのですが、そういう話をされたこと、例えば多角形の内角の和は360度でしたっけ、どういうことかなと、それは体感するのはどうやって体感すればいいのだと話を聞いていたら、角々行って回ってみろと、回ってみて最後に行き着いたら360度回っているのだらうと、だから360度なのだよと、なるほど3角形でも4角形でも5角形でもそうなのですよね。体感できるのです。面白いと思って、そこから少し興味持ったのですが、ある人がサッカーの練習をやっていて、同じ直線上に2人立たせて、自分がこの子たちが、等距離ですよね、立たせて、この子たちに分け隔てなく公平に、どっちが早くボールを取らせるかとやるために、どういうボールを出せばいいのだ、それは垂直二等分線上に出せばいいのだと、なぜかというのはこれ等距離になると、これは二等辺三角形ないし垂直二等辺三角形と言われて、そういう体感の仕方もあるのだと思って、少し教科書見たのですけれども、この東京書籍で見ると、1年生ですけれども、章の初めですよね。19ページに寒暖計が出ています。55ページの平均身長。さっき説明のあった61ページでは棒が出てくるのです。面白いと思ったのは、107ページを開けてもらおうと、ウスターソースとケチャップが2対3の割合でハンバーグをつくりますと、こういうのが出てくるのです。これ比例式の利用ということです。それからいろいろな形でこれ出てくるのです。例えば紙パックの回収とトイレトペーパーとの交換の関係とか、それからシュレッダーと紙の枚数とか、あるいはスライドショーで流すちょうどよい長さの曲の選び方、これみんな比例とかなんとかに関係してくるのです。そういう出し方をしている。要するに必要性和意味を理解しやすくするというのですか、そういう動機づけ、入り方をしているのだと思って、これ面白いと思って見ました。これが東京書籍でしたけれども、それから教科横断的なカリキュラムの視点というところから言うと、例えば社会科ですと時差を教えるのですけれども、これもなかなか分かりづらい。これ時差も扱っていました。60ページに関連で出ていました。それから、縮尺も分かりそうで分からない。これも109ページから扱っています。

面白いと思ったのは186ページ、こういう考え方したことなかったですけれども、これは章の問題Bということで載っているのですが、4番の問題なのです。AED、自動体外式除細動器、これどこに置いたらいいのだと、一番近いところはどこののだという点ですけれども、これ垂直二等分線の性質を利用して、ここがいいと割り出すのです。面白いと思って見ました。これは何に

関連しているのだと、保健体育です。意外とこういうことがあると、いろいろなところに応用が利くと思いました。必要性和その意味を理解させると、こういう工夫が随所にあると思いました。

それから、グラフや数式で表すことと、言語活動によるその表現、これはイコールだと考えているのですよね、今ね。だから、私は言葉で答えさせるのは証明の問題ばかりと思っていたのですけれども、意外や意外、いろいろなところを言葉で答えさせる、そういう問題があります。それは、そういうところを意識していると思いました。

東書では、全体として、先ほどお話ありましたけれども、1年生の教科書の245ページですか、下の4つ、246、247、248、250にも書いてありましたけれども、棒の絵とか描いてあるのですが、振ればア、イ、ウ、エの4つですけれども、このような視点に着目して論理的、統合的、あるいは発展的に考え、数学的な物の見方・考え方を深めていく、そういう工夫が全体的にあると、そのように思いました。ですので、報告書の中には、実社会を題材にして、身近に感じやすい、また理解しやすい内容だと、あるいは問題解決型の、これはお話にありましたけれども、問題解決型の学習を重視して、知識や議論を深めるそういう手助けにもなるのだという報告があったかと思えますけれども、そのようなことも感じました。

ほかにございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 内容1についてはよろしいでしょうか。大分お話もいただきましたので、次の資料、それから表記・表現、総括についてはまとめてお伺いしたいと思いますが、特にございませんか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 では、ほかの観点で協議は何かございませんか。こちらもよろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 なければこれより数学の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計点が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、投票をお願いします。

〔投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、進藤委員、それから荒木委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

投票結果については、発行者の番号、発行社名、評価点の合計点の順番で、発行者の番号順に読み上げます。

2 番	東京書籍	3 0 点
4 番	大日本図書	1 9 点
1 1 番	学校図書	2 3 点
1 7 番	教育出版	2 1 点
6 1 番	啓林館	2 5 点
1 0 4 番	数研出版	1 8 点
1 1 6 番	日本文教出版	1 8 点

以上のとおり数学の教科用図書は、2 番、東京書籍を採択することに決しました。

理科の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 理科の教科用図書について、選定委員より選定資料の説明を求めます。

鈴木選定委員（越ヶ谷小校長） それでは、説明申し上げます。

まず、各社の1年生の教科書の該当のページを挙げながらご説明いたします。

初めに、東京書籍です。内容について、各単元の随所に既習事項が示され、章末や単元の最後にデジタルコンテンツで重要語句や基本事項が確認できるようになっております。また、初めて使う器具の操作方法を1ページ使って説明しております。さらに、正しい操作方法と誤った操作方法が分かるように、写真やイラストにマルやバツで示されております。

教科書86ページの一番下をご覧ください。これは一例ですけれども、各節ごと、ページの下のところを探求の段階が示されております。観察・実験では、今度は90ページになります。90ページの上段に、検討・改善、解決の方法を考えようのコーナーに、結果の見方と考察のポイントが示されております。

また、91ページの中段になりますが、各節の最後には、課題に対する結論を表現しようのコーナーに、使用する単元のキーワードが示されており、それを使って自分の言葉でまとめさせることで思考力や表現力が育成できるよう配慮されております。

続きまして、93ページになりますが、単元の初めのページには、学習内容に関連した写真と、そこから単元に関わる疑問が提示されております。

60ページになります。科学の歴史のコーナーでは、これまでの科学の発展の経緯がイラストや漫画で分かりやすく紹介されており、生徒の興味・関心を引く工夫がされております。

続きまして、170ページになりますが、章末には自然の不思議と題して、発展的な内容が紹介され、さらに学習に対する意欲を引き出す工夫がされております。

88ページの下段になります。科学の見方や、91ページの中段になりますが、学びを生かして考えようなどの項目があり、主体的に学習させるための工夫がなされております。

また、133ページの上段に、暮らしと科学というコーナーがあります。学習内容と生活との関連を紹介しております。資料につきましては、小扉と章末にビフォー・アンド・アフター、例えば133ページの下段にもありますが、このビフォー・アンド・アフターを設定し、章全体の見通しと振り返りができる工夫がなされております。また、ページの文章、写真や図の配置が統一されており、観察・実験に必要な器具の使い方が使用単元に掲載されております。

続きまして、表記・表現について、こちらについては5社共通しまして、理科の用語や数値などは学習指導要領、学術用語集等に従い適切に使用されております。

最後に、総括でございます。巻頭や探求の流れや教科書の使い方などを示しております。単元の配列は各単元の指導時期や内容の関連性を踏まえた配置となっており、生徒の科学的概念の形成に配慮されております。また、単元、最後のコラムでは、日常生活や社会との関連を図ることができるよう配慮されております。

76ページになりますが、小学校の関連につきましては、これまでに学んだこととして、各単元の冒頭や随所に既習事項が提示されており、小学校の学習内容との関連が図られております。その際、本文のどの部分と関連しているのかを引出線で示し、生徒が理解しやすくなるよう工夫されております。

最後に、各学年の巻末には、学びの広がりを持たせるためにペーパークラフトがついております。

続きまして、大日本図書でございます。内容につきましては、各単元の随所に既習事項が示され、章末や単元、最後に重要語句や基本事項が確認できるようになっております。

78ページになりますが、実験の基本操作について見開き1ページでまとめて掲載され、要点をまとめて記載されており、操作のポイントが示されております。

95ページの上段になりますが、実験・観察では目的と着目点が示され、見通しを持って進められるようになっております。

また、95ページの下段になります。結果の整理、結果から考えようにおいて、考察の視点が示されております。

戻りまして、巻頭の部分の4ページになりますが、理科の学習の進め方では、探求の流れや方向が分かりやすく示されております。単元の初めの見開きのページ、例えば8ページになりますが、学習内容に関連した写真が掲載され、興味・関心を引き立てる工夫がされております。発展的内容や他教科とのつながりについては、章末などに、例えば129ページなどにサイエンスプレスと題したページが掲載されており、生徒の関心や意欲を引き出す工夫がなされております。

また、129ページにあります問題を見つけようや、やってみようなどの項目があり、主体的に学習させるための工夫がなされています。さらに、巻頭の学習の進め方や巻末の探求の進め方によって、生徒が見通しを持って学習できる工夫がなされております。

資料につきましては、121ページになりますが、理科に関連した職業を紹介したり、章導入ページ、見開きに興味・関心を高める写真が取り上げられていたりしています。また、観察実験に必要な器具の使い方が主要単元に掲載されているほか、巻末に実験器具の掲載ページが一覧化されているため、振り返りに役立つ工夫がなされております。

総括でございます。巻頭で学習の進め方や教科書の使い方などを示しています。単元配列は小学校との関連を重視した配列となっており、観察・実験のしやすい時期や学年による理科室使用の重なりなどか配慮されております。各単元の初めでは、小学校の学習を振り返るなどの工夫があり、小中の一貫した学習のつながりを重視し、小学校の学習内容と無理なく接続できるようになっています。また、小学校での経験を踏まえ、1年から観察・実験を行うときの基礎的技能が身につくよう、観察・実験器具の操作方法などを丁寧に説明しています。巻末には、課外活動を促したり、科学者の歩みや周期表を掲載したりするなど、知的好奇心を高める工夫がなされております。

続きまして、学校図書でございます。内容について、各単元の随所に既習事項が示され、章末のQRコードを活用したデジタルコンテンツでは、重要語句や基本事項が確認できます。単元の最初に、基礎的な語彙の確認や実験道具の操作方法を解説しています。実験の手順が写真で示され、ポイントには吹き出しのイラストで説明がなされています。巻頭の部分、初めの部分の理科のトリセツをご覧ください。ここでは、探求の進め方や方法が示されています。身近な現象や既習事項から課題を導き、提示し、仮説を立てて実験をする流れになっています。

99ページの下段です。観察・実験では、結果の見方・考え方と同じ99ページ下段の考察の見方・考え方が示されており、これらをヒントに自分の考えをまとめさせることで、思考力や表現力が育成できるように配慮されております。

128ページをご覧ください。単元の見開きのページには、学習内容に関連した写真が掲載され、興味・関心を高める工夫がされております。また、次の130ページには、問題発見と題して、単元に関連する身の回りの科学に気づかせる工夫がされております。単元の終わりには、学び続ける理科マスター、例えば184ページにあります。学び続ける理科マスターのページがあり、学習の振

り返りや知識の深化を図るための工夫がなされております。

また、各章の初めと終わりに、CAN—DOリスト、132ページに掲載されております。CAN—DOリストがあり、主体的に学習させるための工夫がなされています。CAN—DOリストには、生命尊重や環境保全の話題も掲載され、環境問題に関心を持てるようになっています。ほかにもコラムを通して伝統文化や防災に関する内容が紹介されております。

資料につきましては、観察・実験に必要な器具の使い方が主要単元に掲載されているほか、目次の中にあります、目次内に技能に関わる掲載ページが一覧化されているため、振り返りの際に役立つ工夫がなされております。

最後に総括です。巻頭で、理科を学ぶ意義や教科書の使い方が示されています。単元の配列は、経験の浅い教員でも構成を理解しやすいように系統的に配置されています。また、各単元の初めには、写真を用いて既習事項がどの程度身についているかを測る課題があります。本文中では、既習事項や関連する学習の系統性を意識することができるようになっています。さらに、他教科との関連を示す印や、課外学習を促す資料が掲載されています。日常生活との関連については、学習内容と日常との関連を示す資料が設けられているほか、防災・減災に関わる身近な例を調べる探求活動も設けられております。

続きまして、教育出版でございます。内容について、各章の随所に既習事項が示され、章末、単元の終わりで重要語句や基本事項が確認できるようになっています。巻頭の探求の進め方では、探求の流れや方法が示されています。

83ページになります。学習の流れは、課題に対して生徒が仮説を立てた上で、目的意識を持って課題解決の計画を立てる流れとなっています。観察・実験では、85ページになりますが、基礎技能の項内に器具の扱い方について、イラストを用いて手順とポイントが分かりやすく示されています。また、考察を考える際の視点が示されているほか、実験後のレポート例として、88ページのように、私のレポートが示されています。さらに、96ページにあります「活用しよう」や、99ページにあります「考えよう」では、自分の言葉でまとめさせることで、思考力や表現力が育成できるように配慮されています。単元の初めのページには、学習内容に関連した写真が掲載され、興味・関心を高める工夫がなされております。また、この単元で学習内容と関連する既習事項がまとめられ、見通しを持って取り組めるように工夫されております。

113ページにあります「やってみよう」、123ページにあります「チャレンジ」などの項目があり、探求的な課題が示され、主体的に学習させるための工夫がなされています。

110ページの章末や単元の最後のハローサイエンスでは、日常生活や社会との関わりのほか、自然保護や生命尊重に関する対応も紹介され、環境問題に関心を持てるよう工夫されております。

資料についてです。各内容において考え方のポイントや手だてが示されており、課題解決の見通しが立てやすくなっています。また、観察・実験に必要な器具の使い方が該当の単元に掲載さ

れています。

最後に総括です。巻頭で理科を学ぶ意義や探求の進め方などが示されています。単元配列は学年を超えた学習内容のつながりを重視しています。各単元の初めでは、イラストや写真を用いて、これまでの既習事項や学習前の課題を示しています。また、読み物資料で、理科で学習する原理や規則性などが日常生活や社会で活用されていることに触れています。小学校との接続については、各単元扉で学習内容の系統性や、その章の学習内容に関する既習内容が示されており、学習の系統を意識できるように配慮されています。巻末には、興味を引く生物カードや星座早見盤などがついています。

最後に啓林館です。内容について、各章の随所、章末や単元末、またデジタルコンテンツで重要語句や基本事項が掲載されています。また、サイエンス資料として、写真とイラストを併用して、正しい操作の例と危険な操作の例を挙げて説明しています。

143ページの下段になりますが、観察・実験では、結果と考察の視点が示されており、次の探求の振り返りでは、この実験の課題、仮説の検証や新たな課題の発見を促す流れになっています。巻末の探求シート、これ最後のページになりますが、探求シートには探求の進め方や方法を自分の言葉でまとめていくシートがついており、その探究シートの裏面になりますが、探求ラボの説明してみよう、書いてみようなど、自分の言葉で表現させることで思考力や表現力が育成できるように配慮されています。

138ページになりますが、単元の見開きのページには、学習内容に関連した写真が掲載され、興味・関心を高める工夫がされています。

139ページになります。学ぶ前にトライ、学んだあとにリトライでは、単元に関する問いがあり、意欲を引き出す工夫がされています。例えば143ページ、探求実験を設定し、巻末の探求シートを活用して、主体的に学習させるための工夫がなされています。巻末には、264ページになりますが、広がる世界と題して、単元に関連する発展的内容が紹介されています。

さらには、次の165ページになります。お仕事ラボと題したコラム欄には、日常生活との関わりが示され、学習内容の有用性を示す工夫がなされています。

資料についてです。実物の写真が多く用いられています。また、つまずきやすい計算のところなどでは、例題を通して丁寧な解説が用意されています。さらに、左右に広い紙面で図や写真が大きく示されています。

最後に総括です。巻頭で探求の過程や教科書の使い方などを示しています。単元配列は同一学年内での単元指導順序の入れ替えが自由に行える配置になっています。また、各単元の初めでは、関連する小学校の学習内容を振り返ることができ、レディネスチェックに活用できるようになっています。

さらに、学習内容を振り返ったり、中学校の学習内容と関連させたりしたい箇所は、QRコー

ドを活用したデジタルコンテンツを用いて、動画視聴できるように工夫されています。知識や概念を日常生活の中で活用する場面や、日常生活の科学的な疑問を、協働学習を通して理科の学習と結びつけて考えることができるように工夫されています。単元の終わりにも、日常生活の場面を生かした問題が設定されており、探求することに重きを置いて作成してあります。

以上でございます。

吉田教育長 ただいまの報告について質疑を行います。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、まず選定委員としてどの教科書を推薦するのかが説明願います。

瀧田選定委員長（北中校長） 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告、それから法定教科書展示会会場において来場者の皆様からご提出していただいた意見などを参考にしながら、協議を行いました。

協議終了後に、選定員14名で全員が5種類の教科書発行社について評価をそれぞれ5段階で記載した無記名での投票をいたしました。70点が満点ということになります。

結果でございますけれども、2番、東京書籍58点、4番、大日本出版39点、11番、学校図書70点、17番、教育出版39点、61番、啓林館45点という結果です。

本選定委員会としましては、点数の多かった順に、70点の学校図書、58点の東京書籍、45点の啓林館を推薦させていただきます。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

鈴木選定委員（越ヶ谷小校長） 選定委員会では、大きく2点の話題が出ました。1点目は、実験の後の結果などの考察の部分、各社具体例が示され、子どもたちが自ら考察する手だてが充実しているということ。2点目は、理科の学びのスタイル、すなわち科学的な探求の過程ですとか、または日常生活のつながりについて、また実験の仕方として、手順やポイント、注意事項がどの教科書も具体的に示されていると、こういったことが話題に出ました。

以上です。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 学校の調査報告書では、どの教科書会社の推薦が多かったですか。また、その主な理由について教えてください。

鈴木選定委員（越ヶ谷小校長） 学校からの推薦では、学校図書を推薦する学校が最も多く12票、続いて東京書籍4票、大日本図書、教育出版、啓林館は2票という結果でした。

推薦理由といたしましては、学校図書では、自然の事物、現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察・実験に必要な技能や資料が分かりやすく掲載されており、知識及び技能が習得されるための工夫がなされているということ。東京書籍では、実験のページが見やすく、内容も充実しているということ、また生徒の科学的思考を導きやすい展開になっているため。また、大日本図書では、サイズ、重量ともに持ち運びしやすく、内容が文章でまとめられていて見やすかったという点。教育出版では、図や写真が豊富に使われているということ、また思考の段階が分かりやすいという点が挙げられました。最後に、啓林館では、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察・実験を行うなどの科学的に探求する学習活動を充実させるために生徒の科学的な思考を促すような工夫がされていると、このような意見がありました。

以上です。

堀川委員 ありがとうございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 学習過程という点で各社大きな違いはありましたでしょうか。

鈴木選定委員（越ヶ谷小校長） 今回の学習指導要領の改訂では、どの教科でも共通して資質能力、また見方・考え方が最大のポイントとなっており、理科におきましても各社それを意識した構成となっていました。また、特に理科においては探求の過程が重要なポイントとなっております。前回の学習指導要領、平成20年度の学習指導要領では、この探求の過程という文言は入っていませんでしたが、今回の改訂、新しい学習指導要領では全部で37ページ、文言が出ております。

各社においてはこの探求の過程の扱いについて大事にしているという点では同じでございますが、表記や生徒へのアプローチの仕方については、各社それぞれ工夫を凝らしているという点では多少の違いがあります。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 選定委員会には1号委員として保護者がいらっしゃいますが、どのような意見が出たのでしょうか。

瀧田選定委員長（北中校長） それでは、私からお答えします。

1号委員からは、特に考察などで様々な場面で自分の言葉でまとめるような工夫がされていて、とてもいいのではないかとのご意見をいただきました。

さらに、QRコードがあるわけですが、これは家庭内で活用することが目的なのか、そ

れとも授業で使うものなのかというようなご質問をいただいたのです。それに対して選定委員からは、実体験が一番であるのはもちろん言うまでもないわけですが、全てを体験できるわけではないので、その補完としてICT教材を授業や家庭で効果的に活用するというところで回答させていただいたところです。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ質疑を終わりといたします。

それでは、協議を行います。選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見ございますでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 どの教科書も様々に工夫が凝らされていると思いました。ご説明と重複する点もあるかと思いますが、探求の過程に着目して、調査の観点とも照らし合わせて、特に感じたことを申し上げます。

学校図書では、1時間ごとにこの時間の課題とこの時間のまとめがあり、理解が深まると思いました。東京書籍は、節の結論などで自分自身の言葉でまとめることで思考力、判断力等を育む工夫がされています。また、学校図書では、章の初めと終わりに対応するCAN-DOリストが大切な3つの観点から書かれており、目標と振り返りが一体化されていることで自己変容が分かり、感心を持って意欲的に学ぶことができると思いました。

さらに、啓林館1年、188ページ、凍らせたスポーツ飲料などのラボですとか、教育出版の3年生、319ページの情報モラル、321ページのロボットとAIの開発などのハローサイエンス、大日本図書2年229ページの暮らしを支えるセンサー技術など、各教科書とも日常生活や他教科との関連を図る工夫がなされていると思いました。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 先ほど来、探求の過程ということが話題になっていますけれども、どちらの教科書も巻頭、あるいは巻頭と巻末両方に探求の過程に関して丁寧な説明がされていると思いました。とりわけ説明が詳細だったと思ったのが、学図がトリセツも含めていろいろと細かく説明していただき、大変分かりやすいと思いました。形式的なところでは、東書が各ページの欄外のところに、その探求の過程の今どこをやっているのだよというところが一目で分かるような工夫がされていて、また教育出版は、探求の過程に関しましては、折り込みページで、それを開くと、どんなブ

ロセスをたどって考えればいいのかということが一目で分かるように工夫がされていて、常にこれを意識しながらできると思いました。

あとは、もしかしたら資料のところと関連してしまうのかもしれませんが、若干ミーハー的なところから申し上げますと、学図の3年生の207ページに、越谷のリユースの写真が出ていたので、案外こういう身近なものが教科書に載っていると、子どもさんはうれしいのではないかと思います。

以上です。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 私も荒木委員と進藤委員と同じなのですが、特に実験についてですが、どの教科書も非常によくまとまっていると思ったのですが、まず学図は非常に探求の過程がしっかりしているという印象を受けました。

東書は、この形をよく利用していらっしゃるという印象を受けまして、実験におきましても、実験が始まって、そこからステップ1・2・考察まで。次を開くと、その実験から分かることということで、結果、結論のところを改めて書いてあり、分かりやすいという印象を受けました。

補足なのですが、キャラクターに関してなのですが、東京書籍はキャラクターの顔の色とかがないのです。線で描いてあるというか、あまり邪魔にならなくていいと個人的には思いました。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、それぞれの委員さんの意見と重複するのですが、本当に各社とも学習の流れについては、これ数学も同様ですが、大変しっかりと学習過程というのですか、それを確立してあって、分かりやすくしているという印象を受けました。また、昔こんなにあったかなと思うのですが、結構小学校との関連とか、そのあたりについても非常に細かく載せてあるという印象を受けました。

その中、これまでも話に出ていましたけれども、学図では、章の初めに3観点に沿ったCAN—DOリストというのですか、それ出されていて、一貫した取り組みができるのかなということで、現場でもその辺は評価されていると思いました。

それから、これは資料に入ってしまうかもしれませんが、学校からの意見でも、図やイラストが分かりやすいですとか、あと学図でホワイトボードが使いやすいという意見が出ていたので、その辺についても評価されていると思いました。

以上です。

吉田教育長 私から何点か申し上げたいと思っています。

学図では、科学の、2でも1でもみんな同じだと思います。科学の2の6ページにあるように、1の気づきから始まって、7の考察、10の次の気づきまでの実験や考察を含めた探求の過程の中で、決まりとかあるいは関係性に着目して科学的な物の見方・考え方を働かせ、学びを深めていくということがなされていると思いました。

具体的には、学図ではこの探求活動については、6ページの一番上に、探求とは気づきと不理解の連続だというふうにして、これは2ページですか、目次のところです。目次のところに戻ると、化学変化や原子物質があるのですけれども、2の1の中で言うと、8つの探求活動が出ているのです。これ結びには出てこないのですけれども、それから動物の仕組みというところでは、やはり8つ、それからその下の電流の働きでは、電気では4つの活動を、しかもそれぞれ連番でやっているのです、単独ではなくて。それを関連づけているのだと思います。連番をつけて探求活動。

また、これは幾つかあるのですけれども、1つだけ、例えば電気のところだと、149ページですか、少し開けていただきたいのですけれども、149ページのところに探求1、これは電気の最初のところなのですから、これでこのところの赤い字で書いてあるのですが、電流の大きさは豆電球を通った後で減るのか、極めて素朴な質問から入って、これは子どもとしてはやりやすいのだろうと思っています。

私も理科に興味を持ったのは、空気を発見するという科学の入門ですか。空気って何だと、空気をどう発見したのだというそういう本があって、それを読んだのですけれども、平台に、牛乳瓶でも何でもいからこうやってふたをしていて、ビニールのふたをして置いておいたら、膨らんだ。膨らんだからこれは何かあるなと、何かあると思ったから、今度は燃やしてみた。燃やしてみたら、燃えているものが消えていってしまった。ということは、その何か見えないけれども、そこには何かがあった。これは、燃えるもとだ、最初に燃素とつけた。そういうような本なのですね。非常に、科学ってこういうことなのだと、面白いと思っていたので、やはりそういうふうにして積み上げていかないと、なかなか子どもの中に入っていくわけなので、今いきなり難しい議論が出てきてしまいましたが、何言っているかさっぱり分からなくなってしまうけれども、最初のそういう何か調べてみよう、自然現象って、あるいは自然の事物ってどういうふうになっているのだろうと考える動機づけとしては、やはり子どもの考え方としては、豆電球を通ったら電気は減ってしまうのではないのと考えるということですよ。これ減らないのです。同じなのです。これも不思議の一つなのです。

何が言いたいかというと、そういう既習の事項や身近なこと、あるいは素朴な疑問の中から気づきや課題を設定して、学習者が自分で進める観察というのですか、観察・実験を通して、これ帰納的推論ということですよ。この帰納的推論を導き出せるようにした。その帰納的推論だけか考えると、今度は53ページに少し戻っていただいて、53ページを見ると、これは酸化銅のモ

デルを書いたのですが、4つ書いてある一番上ですが、その $2\text{Cu} + \text{O}_2 = 2\text{CuO}$ と、その下のところ。たとえ周りに酸素分子がたくさんあってもねCU原子1つには酸素原子1つしか結びつかない。だから、質量の比が一定になるため、これは実験でやって確かめた後の考察なのですけれども、その下には、酸化銅、化学式のCuOということは、こうはならないのだけれども、絵のようにはならないのだけれども、加熱を続けても質量が増え続けるということではないのだと、これは帰納的推論ではなくて演繹的推論なのですよね。この帰納的推論と演繹的推論を積み重ねていって、合わせて全体として問題解決の科学的な物の見方を工夫している。これはいいところだと思います。

そういうところがあって、報告書の中には、身近な科学や仕事につながる説明が多くて、日常生活に通じる部分も多いという報告があったわけなのです。

それと、越谷市との関わりで言うと、この2の268ページ、三郷で竜巻がありましたけれども、越谷でもあったので、その絵が迫力のある、迫力あってはいけないのですけれども、写真が載っていました。

それと、科学の3の203のところを見てみたのですけれども、207ページ、何か写真がありますよね。これ見慣れた風景だと思うのですが、それと225ページ、これはあまり見られないのかな、これどこですか、これ。ヒマワリ、コスモス、越谷のプラネタリウムがあるところ。

〔「コスモスです」と答える者あり〕

吉田教育長 児童館コスモスの写真なのだけれども。

それから、268ページにも何かあります。268ページに、これは字だけなのですけれども、アリタキ植物園。それが載っていました。子どもたちにとってはこういう地元のものが教科書に載っているというのは、何か誇らしく思うことになるかと思います。こういったところも併せて紹介させていただきました。

私からは以上です。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 それでは、資料、それから表記・表現、総括についてまとめて何かございますでしょうか。

こちらもよろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 それで、なければこれより理科の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いもの

を採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、投票をお願いいたします。

〔投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんでしょうか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、渡辺委員、それから野口委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

投票結果については、発行者の番号、発行社名、評価点の合計点の順番に、発行者の番号順に読み上げます。

2 番	東京書籍	2 5 点
4 番	大日本図書	1 8 点
1 1 番	学校図書	3 0 点
1 7 番	教育出版	1 8 点
6 1 番	啓林館	2 3 点

以上のとおり、11番、学校図書を理科の教科用図書として採択することに決定しました。

さて、現在審議しております第37号議案ですが、本日の審議はここまでとして、以降の種目につきましては、日を改めまして8月6日、木曜日、午前9時半から今回と同じ第3委員会室で引き続き審議を行いたいと存じます。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

◎閉会の宣告

吉田教育長 それでは、本日の会議はこれにて閉会といたします。

ご苦労さまでした。

(午後 5時30分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長

吉 田 茂

委 員

野 口 久 男

委 員

堀 川 智 子

委 員

進 藤 秀 子

委 員

荒 木 明 子

委 員

渡 辺 律 子

書 記

教育総務課副課長

市川 今日子